

【 I 短期プラン 】

実施事業(施設整備を伴うもの)			
①	P12	市庁舎再整備	⑪ P32 北消防署遠藤出張所新設
②	P14	六会市民センター再整備(北消防署六会出張所等)	⑫ P34 仮設校舎新設(リース施設)(大鋸小学校、高谷小学校)
③	P16	藤沢公民館・労働会館等再整備	⑬ P36 給食調理場整備(滝の沢小学校、駒寄小学校、大清水小学校)
④	P18	(仮称)ふじさわ宿交流館新設	⑭ P38 稚児ヶ淵レストハウス建て替え
⑤	P20	(仮称)藤澤浮世絵館開設	⑮ P40 藤沢駅北口第2自転車等駐車場整備
⑥	P22	(仮称)アートスペース湘南開設	⑯ P42 防災備蓄倉庫整備(大鋸、村岡東、片瀬目白山等)
⑦	P24	生きがい福祉センター建て替え	⑰ P44 津波対策整備(湘洋中学校、鶴沼市民センター、市営鶴沼住宅)
⑧	P26	村岡子供の家新設	⑱ P46 付帯施設整備((仮称)天神スポーツ広場、葛原第二最終処分場上部、引地川親水公園)
⑨	P28	しぶやがはら保育園建て替え	⑲ P48 市民病院再整備[特別会計施設]
⑩	P30	(仮称)環境分析センター整備	⑳ P50 下水道施設再整備(辻堂浄化センター管理棟建て替え、各ポンプ場耐震化等)[特別会計施設]
実施事業(計画等策定を行うもの)			
①	P52	地域コミュニティ拠点施設のあり方方針の策定	② P53 学校施設再整備計画の策定
検討事業			
①	P54	善行市民センター再整備(善行保育園、善行乳児保育園等)	⑧ P64 ふれあいセンター再整備
②	P56	辻堂市民センター再整備(南消防署辻堂出張所等)	⑨ P65 湘南台地区ボランティアセンター新設
③	P58	文化ゾーンの再整備(市民会館、南市民図書館等)	⑩ P66 環境事業センター再整備(南北収集事務所統合整備)
④	P60	村岡公民館再整備	⑪ P67 焼却施設再整備(石名坂環境事業所、北部環境事業所)
⑤	P61	文化財収蔵庫整備	⑫ P68 南消防署本町出張所(第9分団)再整備
⑥	P62	老人福祉センターやすらぎ荘再整備	⑬ P69 南消防署苅田出張所(第5分団)再整備(自家用給油所等)
⑦	P63	太陽の家再整備	⑭ P70 藤が岡二丁目地区の再整備(藤が岡保育園等)

(事業番号網掛け:「総合指針2016」に位置付いている事業)

(1) 実施事業（施設整備を伴うもの）

① 市庁舎再整備

所管課	財務部管財課
住所又は地番	朝日町1-1
敷地面積	10,902㎡
延べ床面積※ ³	14,406㎡（本館、東館等）*新館等から移転する機能の床面積除く
現状・課題	市庁舎（本館及び東館）については、老朽化と耐震性の問題から東日本大震災後、仮庁舎への移転を余儀なくされ、庁舎機能が分散されています。 そのため、市民サービスや業務効率の低下、必要な庁舎機能を確保するための民間施設の賃借費用の発生等の課題があります。
「再整備基本方針」に基づく考え方	市庁舎（本館及び東館）については、老朽化等により現在使用を中止しており、「公共施設の安全性の確保」の観点からも早急に整備が必要です。合わせて、周辺賃借施設の機能集約も行います。
事業概要	「人・環境にやさしい市民に親しまれる庁舎」を基本方針として、市民・職員にとって利用しやすく、市民サービスのさらなる向上や防災機能の強化、市民の方が集い交流できる庁舎を目指します。 また、ユニバーサルデザインや周辺環境に配慮するとともに、将来の人口構成の変化を見据え、事務空間の可変が容易に可能となる施設とします。また、まちづくりの観点からも新庁舎が果たす役割は大きいことから、藤沢駅など周辺からの動線等を含めて計画します。なお、新庁舎建設に合わせて、現市庁舎新館の整備（再配置）計画も進めます。
	想定床面積 約35,000㎡ 地上10階、地下1階 RC造
複合化等検討対象施設	市庁舎、周辺賃借施設の庁舎機能

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・実施設計（新設歩道橋含む） ・本館等解体工事 ・既存インフラ切り廻し、仮設歩道橋工事	931,816
H27	・建設工事（新設歩道橋含む）他	2,240,000
H28	・建設工事（新設歩道橋含む）	8,050,000
供用開始予定	平成30年1月	総事業費見込み※ ⁴ 18,700,000

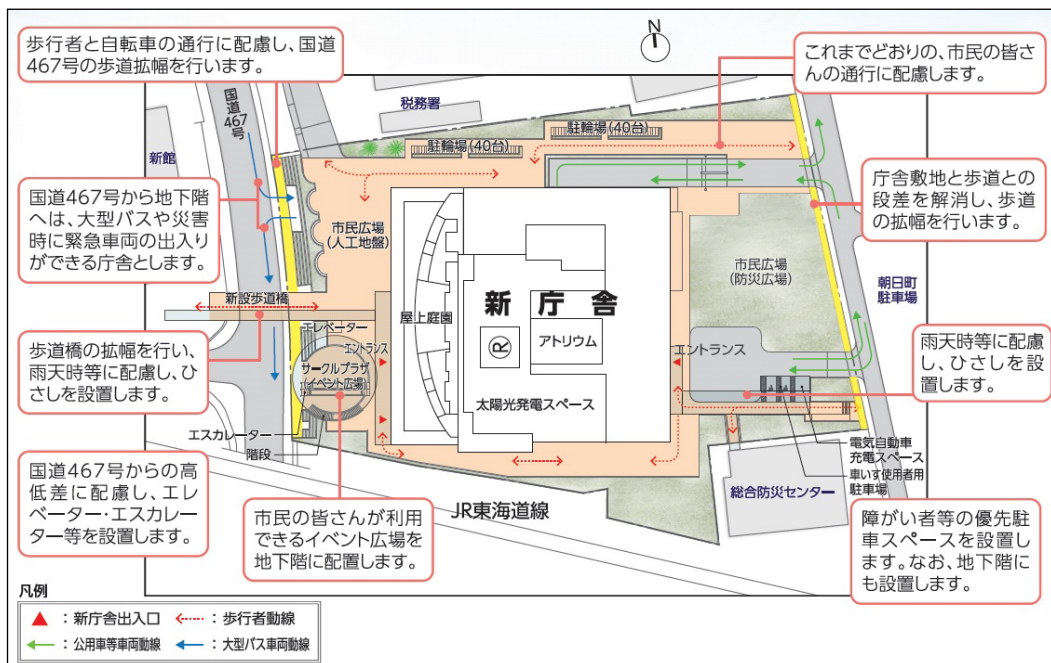
※³ 現状の延べ床面積を記載。複数棟ある場合は合計値を記載（以下短期プラン表内同じ）

※⁴ 平成26年度以降の事業完了までの事業費（平成29年度以降含む）の総額見込み

[模型写真（北西側国道467号側から）]



[配置計画]



[建設スケジュール]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
新庁舎建設工事	基本設計の見直し	実施設計・発注・契約	新庁舎本体・人工地盤・外構・新設歩道橋工事 (工期:27ヶ月)	
新庁舎建設に伴う関連工事	既存インフラ初り直し工事	既存庁舎解体工事 仮設歩道橋工事		

② 六会市民センター再整備（北消防署六会出張所等）

所管課	市民自治部市民自治推進課
住所又は地番	亀井野四丁目8-1
敷地面積	4,070㎡
延べ床面積	2,484㎡（地下体育館含む）
現状・課題	六会市民センター及び北消防署六会出張所については、旧耐震基準※5で建設されており、老朽化が著しく、安全性の確保が求められていました。また、既存の地下体育館の地下水漏れや臭気への対策が課題となっています。
「再整備基本方針」に基づく考え方	市民センター・公民館については任意施設ですが、13地区の拠点施設として、現機能を継続する必要があります。 また、「公共施設の安全性の確保」の観点から、老朽化部分の建て替えと既存施設の改修により再整備を進めていくとともに、周辺施設等との機能集約・複合化を実施します。
事業概要	公民館、市民図書室、地域包括支援センターを併設したこれまでの市民センターに、隣接する北消防署六会出張所（第16分団）を合築し、再整備します。 また、近隣の民間施設を賃借していた地区ボランティアセンターを機能集約するとともに、本市中部における子育て支援拠点として、子育て支援センターを新設します。 なお、既存の地下体育館については、継続利用が可能となるよう改修工事を実施します。 ----- 想定床面積 約4,100㎡（既存地下体育館含む） 地上3階 RC造（地下体育館は地上1階地下2階 SRC造）
複合化等検討対象施設	六会市民センター、六会公民館、六会市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、子育て支援センター（新設）、北消防署六会出張所、第16分団器具置場

（事業費 H26：予算額（補正含む）、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・解体工事（5月～8月） ・建設工事、体育館改修工事（10月～） ・仮設庁舎賃貸借、仮設消防出張所賃貸借	224,101
H27	・建設工事、体育館改修工事（3月竣工、供用開始） ・仮設庁舎賃貸借、仮設消防出張所賃貸借	1,750,815
H28	・仮設庁舎撤去	4,200
供用開始予定	平成28年3月	総事業費見込み 1,979,116

※5 建築基準法の耐震基準が1981年（昭和56年）に改正されたことから、これ以前のものを旧耐震基準としています。

[完成イメージ図]



[六会市民センターフロア計画]

	市民センター・公民館等	消防出張所等
1階	市民センター・公民館事務室 市民図書室 地区ボランティアセンター 地域包括支援センター 倉庫等	消防車車庫 倉庫等
2階	子育て支援センター 会議室等	消防出張所事務室等
3階	ホール 会議室等	分団待機室等

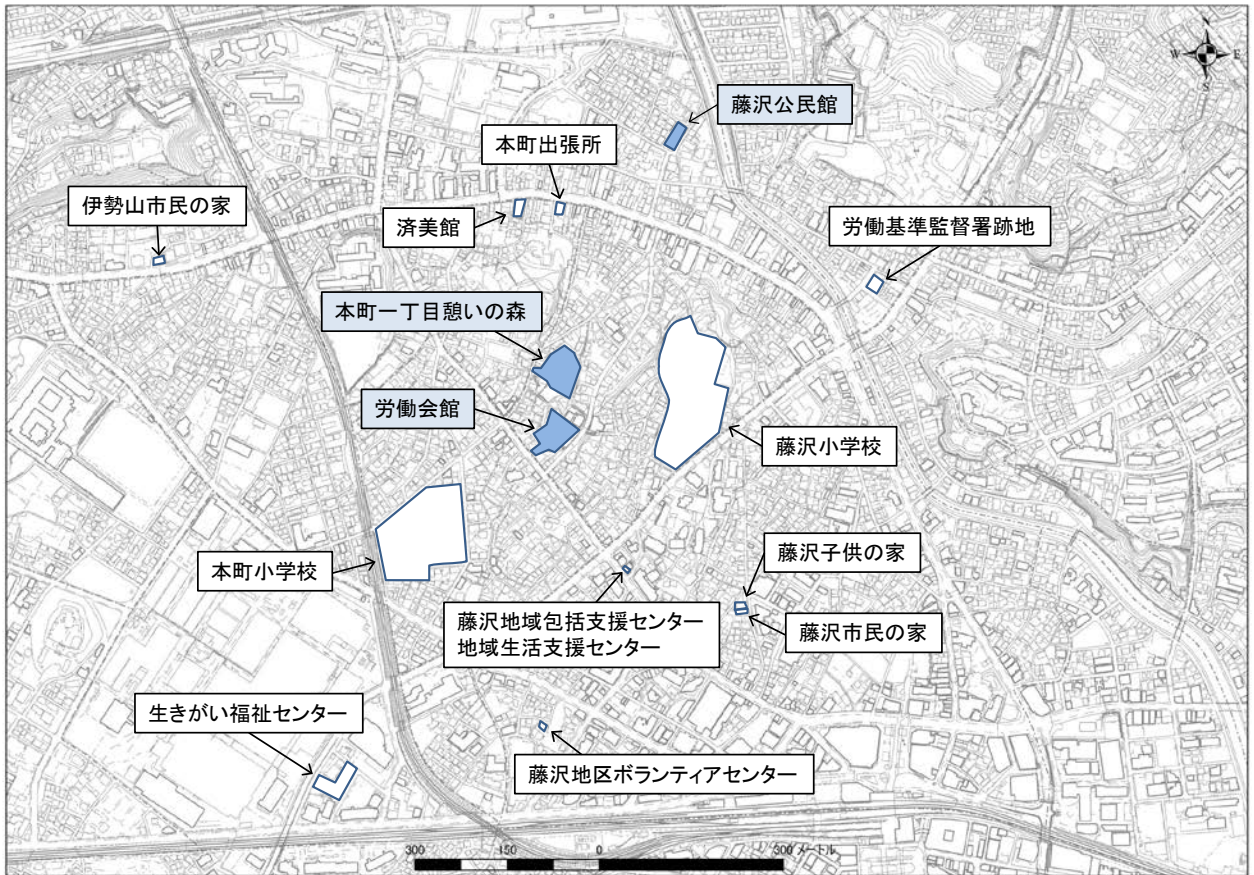
③ 藤沢公民館・労働会館等再整備

所管課	生涯学習部生涯学習総務課	経済部産業労働課
住所又は地番	本町一丁目12-17（労働会館）	
敷地面積	3,657㎡	
延べ床面積	1,716㎡（藤沢公民館）	3,261㎡（労働会館）
現状・課題	<p>藤沢公民館については、旧耐震基準で建設された施設であり、老朽化し、狭隘であることから、地域住民からは早急な建て替えが望まれています。</p> <p>また、労働会館についても、老朽化が進んでいることから耐震性に課題があり、安全性の確保を図る必要があります。</p>	
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>「公共施設の安全性の確保」の観点から、藤沢公民館と労働会館の再整備を早急に進める必要があります。</p> <p>また、「公共施設の機能集約・複合化による施設数縮減」に向け、周辺の公共施設との機能集約についても合わせて検討します。</p>	
事業概要	<p>労働会館の敷地を利用し、藤沢公民館との合築による再整備を行います。</p> <p>再整備に当たっては、公民館機能の拡充を行い、現在の手狭な状態を解消するとともに、駐車台数の確保、施設のバリアフリー化、地区防災拠点施設としての機能向上を図ります。さらに生涯学習の一層の充実を図るため、単独公民館としての位置付けや役割等について検討します。</p> <p>また、周辺の公共施設との機能集約及び放課後児童クラブの新設を検討するとともに、敷地北側の「本町一丁目憩いの森」等と新たな施設との一体的利用についても合わせて検討します。</p>	
複合化等検討対象施設	藤沢公民館、労働会館、藤沢市民図書室、地域包括支援センター、地域生活支援センター、藤沢市民の家、伊勢山市民の家、藤沢子供の家、地区ボランティアセンター、放課後児童クラブ（新設）	

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・基本構想	20,000
H27	・基本設計、実施設計等	210,000
H28	・労働会館解体工事等	170,000
供用開始予定	平成31年4月	総事業費見込み 4,500,000

[位置図]



[想定建設スケジュール]

	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
設計等	基本構想			基本設計・実施設計・解体設計														
建設工事							解体工事			建築工事			供用開始					

④ (仮称) ふじさわ宿交流館新設

所管課	生涯学習部郷土歴史課
住所又は地番	西富一丁目320-1
敷地面積	495㎡
延べ床面積	—
現状・課題	<p>本敷地（労働基準監督署跡地）は、東海道五十三次の6番目の宿場として設置された藤沢宿に位置し、本市の発展を伝える歴史的資産を数多く残す重要な場所のため、地区の方々から資料館、コミュニティスペース、トイレなどの施設設置の要望があります。</p> <p>また、旧東海道藤沢宿周辺においては、これまでもトランスボックスへの浮世絵のラッピング、「藤沢宿」の幟^{のぼり}の掲出など、地域独自の取組が行われており、本市でも遊行寺橋高欄の改修、歴史施設等の案内誘導サインの整備を行うなど、地域全体として、旧宿場の歴史を活かしたまちづくりを進めています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>新たな行政ニーズ等により建設するこの施設は、歴史資料展示スペース、舞台のある多目的ホール（休憩所）に加え、地域の交流の場となる会合やワークショップなどができる会議室及び防災倉庫等を複合化し、地域の賑わいの創出につながる多機能な施設として検討します。</p>
事業概要	<p>本敷地は平成9年に国より取得し、活用について地域から要望をいただくとともに、施設整備に向けた検討を進めてきています。</p> <p>(仮称) ふじさわ宿交流館は、旧宿場の歴史を活かしたまちづくりの拠点施設として、歴史散策やウォーキングで訪れる人たちの休憩や地域の歴史・文化を学ぶ等、活動や交流の場となるもので、この他の様々な藤沢宿の取組と合わせ、地域の活性化に資する施設として整備します。</p>
	<p>想定床面積 約350㎡ 地上2階 鉄骨造</p>
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・基本設計、実施設計、運営形態検討等	21,651
H27	・建設工事	150,000
H28	・供用開始	—
供用開始予定	平成28年4月	総事業費見込み 171,651

[現況写真]



[位置図]



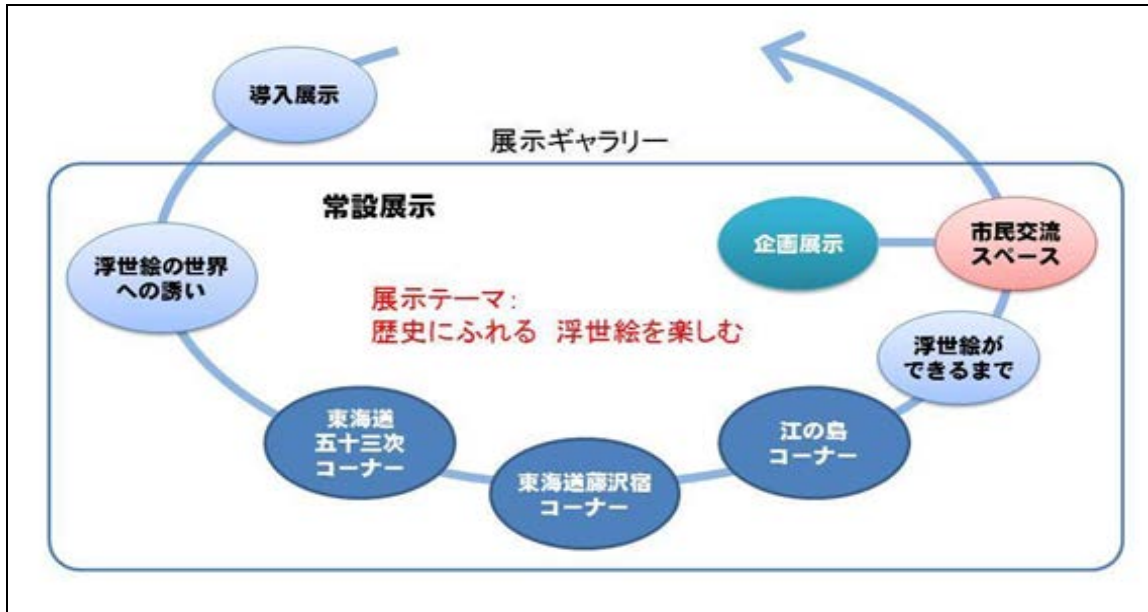
⑤ (仮称) 藤澤浮世絵館開設

所管課	生涯学習部郷土歴史課
住所又は地番	辻堂神台二丁目2-2 (ココテラス湘南7階)
賃借面積	約550㎡
延べ床面積	—
現状・課題	<p>これまで本市では、約1,500点余りの浮世絵類をはじめとして、郷土歴史に関連した各種資料を長年にわたり収集してきました。</p> <p>これらの浮世絵を中心とした様々な歴史資料は、美術品としての価値も高く、市民をはじめ多くの人に見ていただく場を提供することが求められています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>新たな行政ニーズ等により設置する施設であり、利用者の利便性を考慮し、辻堂駅から至近の距離にある既存のココテラス湘南(一般財団法人藤沢市開発経営公社所有)を利用し、整備します。</p>
事業概要	<p>本市が長年をかけて収集した市民共有の貴重な財産である浮世絵を中心とした様々な資料を展示し、当時の暮らしや文化を今に伝え、郷土藤沢の歴史・文化について関心を持ち、知っていただく機会を設けるとともに、市民が集い、郷土愛を育み、文化の継承に繋がる生涯学習(文化芸術)の場となるよう整備します。</p>
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26: 予算額、H27・H28: 想定事業費)

年度	スケジュール予定		事業費(千円)
H26	・基本設計・実施設計、運営形態検討等		11,934
H27	・内装工事等		120,000
H28	・供用開始		—
供用開始予定	平成28年4月	総事業費見込み	131,934

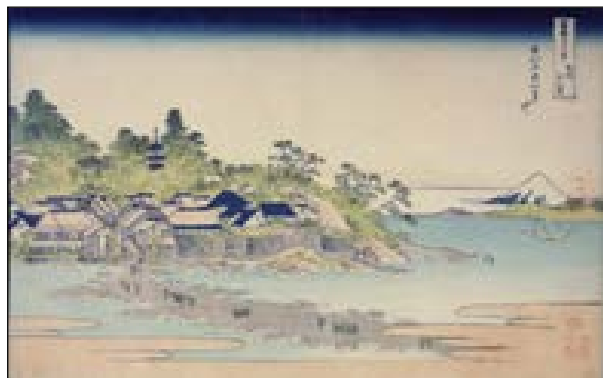
[展示構成イメージ]



[藤沢市所蔵の浮世絵]



喜多川歌麿「弥生の江之島詣」



葛飾北斎「富嶽三十六景 相州江の島」



歌川広重「東海道五十三次 藤沢（四ツ谷）」

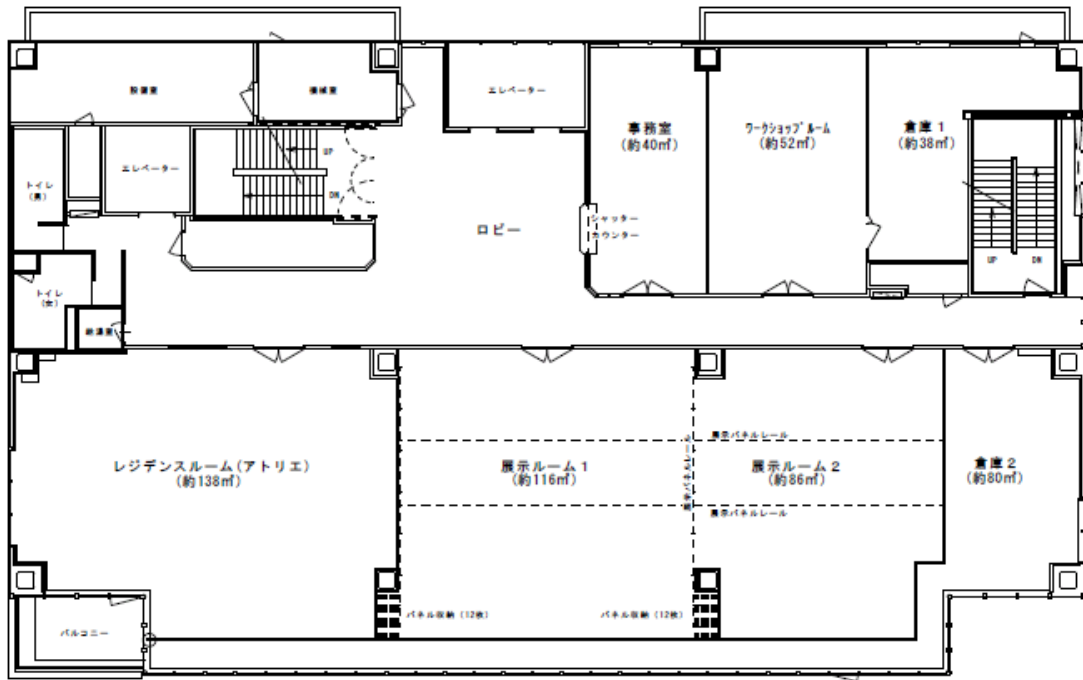
⑥ (仮称) アートスペース湘南開設

所管課	生涯学習部文化芸術課
住所又は地番	辻堂神台二丁目2-2 (ココテラス湘南6階)
賃借面積	約550㎡
延べ床面積	—
現状・課題	<p>これまで本市では、市内で活動を行う美術サークル及びその連合体等の作品発表の場として、藤沢市民ギャラリーを設置し、市民が生涯学習の一つとして美術活動を行う風土・土壌の醸成に大きく寄与してきました。</p> <p>しかしながら、若手芸術家等がその美術作品の創作や展示・発表をし、市民が身近に美術の魅力に触れ、あるいは学ぶことのできる場は、これまでなかったため、そのような場の設置が求められています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>新たな行政ニーズ等により設置する施設であり、利用者の利便性を考慮し、辻堂駅から至近の距離にある既存のココテラス湘南（一般財団法人藤沢市開発経営公社所有）を利用し、整備します。</p>
事業概要	<p>本市が文化芸術のまち「藤沢」としての魅力を高めていくため、若手芸術家等の美術作品の創作活動及び展示・発表等を支援する場、身近な美術鑑賞の機会提供の場、個展やグループ展など幅広い分野の美術作品の展示・発表の場、ワークショップ等を通じた市民の美術学習の場として、これまでの市民ギャラリーでは果たすことのできなかつた新たな機能を持つ文化芸術を創造・発信する施設として整備します。</p>
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定		事業費 (千円)
H26	・内装工事等		31,655
H27	・開設準備、供用開始		—
H28	—		—
供用開始予定	平成27年10月	総事業費見込み	31,655

[平面計画]



[展示ルームイメージ]



[レジデンスルームイメージ]



3331ARTSCHIYODA

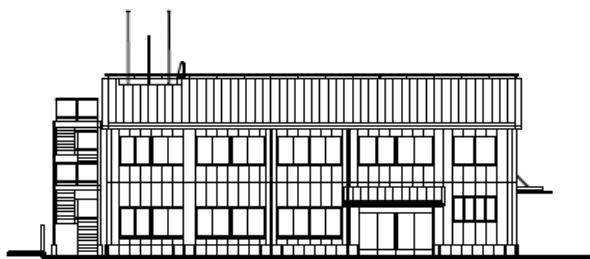
⑦ 生きがい福祉センター建て替え

所管課	福祉部高齢者支援課
住所又は地番	鶴沼神明一丁目3-18
敷地面積	約1,540㎡（現敷地面積2,231㎡）
延べ床面積	1,187㎡
現状・課題	<p>生きがい福祉センターについては、高齢者及び障がい者等に対し、就労機会の提供による生きがいづくりと社会参加を促進することを目的に設置した施設です。</p> <p>施設は建築後50年以上が経過し、老朽化や機能低下が著しく、耐震性についても課題があります。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>施設の老朽化や機能低下が著しく、「公共施設の安全性の確保」の観点から早急な建て替えが必要です。また、再整備によって生じた余剰地については、資産の有効活用を図ります。</p>
事業概要	<p>高齢者及び障がい者等の生きがいづくりと社会参加等を促進するとともに、利用者の安全性を確保するため、建て替えを実施します。</p> <p>また、再整備後は現敷地の一部（3分の1程度）を賃貸するなど、資産の有効活用を検討します。</p>
	<p>想定床面積 約1,000㎡ 地上2階 鉄骨造</p>
複合化等検討対象施設	—

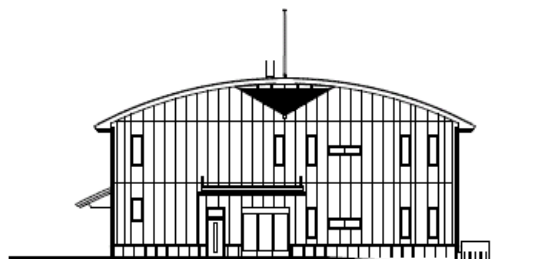
（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事（7月着工） ・敷地の有効活用の検討 	178,413
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事（6月竣工、7月一部供用開始） ・既存施設の解体、外構工事等（1月完了） ・供用開始 	356,450
H28	—	—
供用開始予定	平成28年2月	総事業費見込み 534,863

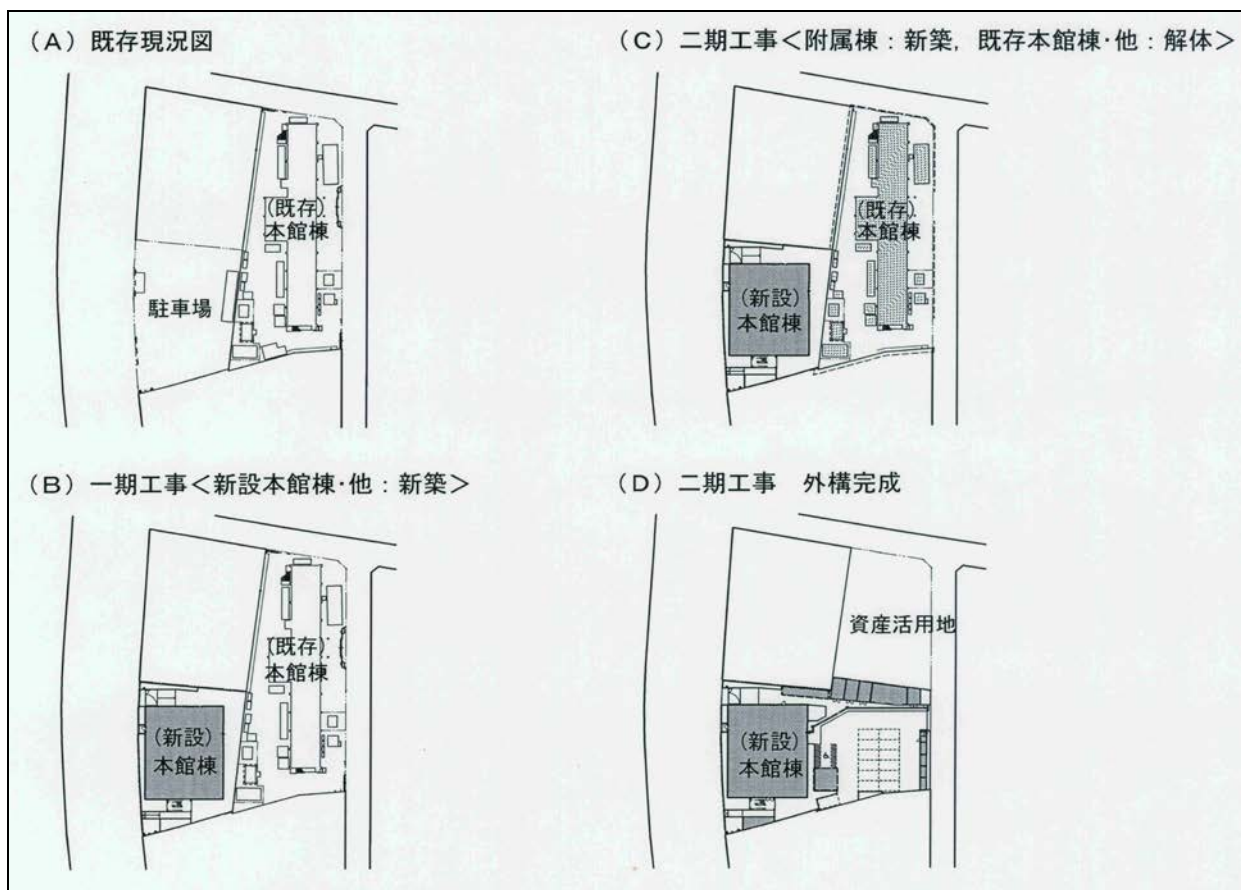
[東側立面図]



[北側立面図]



[工事工程計画図]



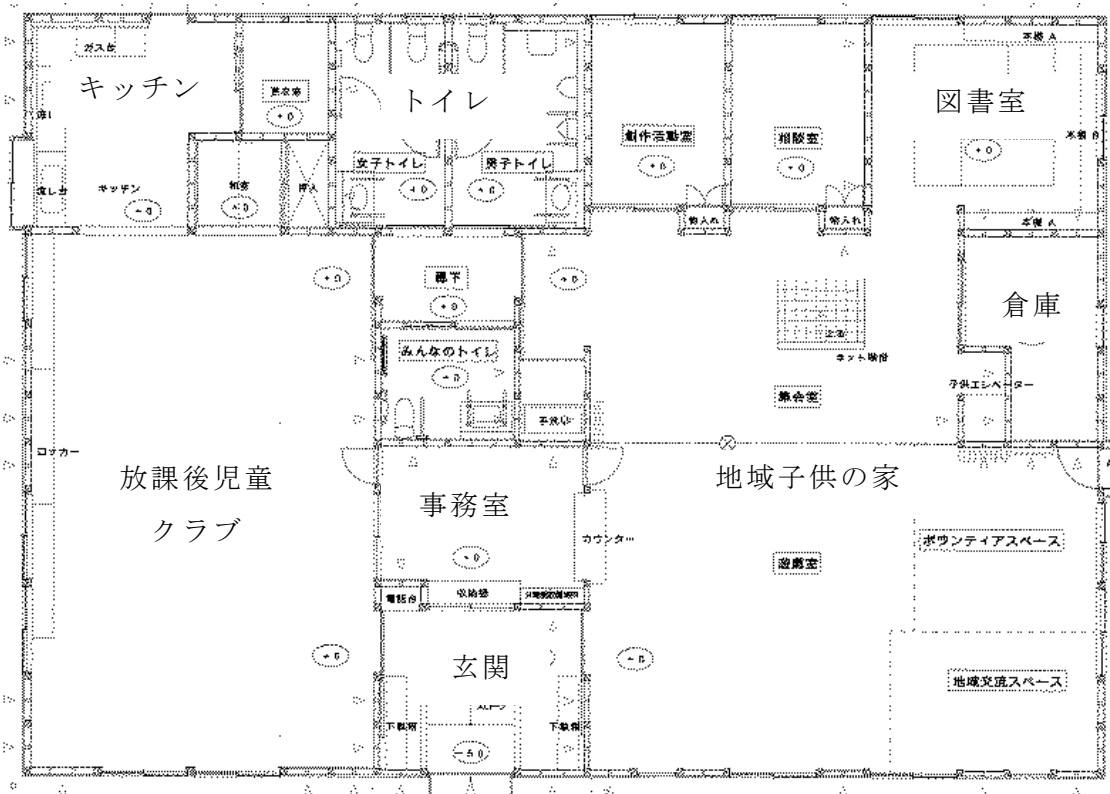
⑧ 村岡子供の家新設

所管課	子ども青少年部子ども青少年育成課
住所又は地番	弥勒寺一丁目12
敷地面積	約600㎡
延べ床面積	—
現状・課題	平成25年11月末に閉館した村岡子供の家については、利用者数も多いことから、早期の再整備が求められています。
「再整備基本方針」に基づく考え方	村岡子供の家の新設に伴い、新たな条例に基づく基準を満たすために施設整備が必要な放課後児童クラブや地域利用が可能な多目的室との複合施設の整備を検討します。
事業概要	村岡子供を家の設置については、地域からの強い要望があるとともに、地域の子どもたちの健全育成のためにも早期に実施していく必要があり、民有地を賃借して新設します。 施設建設に合わせ、放課後児童クラブや多目的室の設置を検討します。
	想定床面積 約430㎡ 地上2階 木造
複合化等検討対象施設	村岡子供の家、放課後児童クラブ（新設）

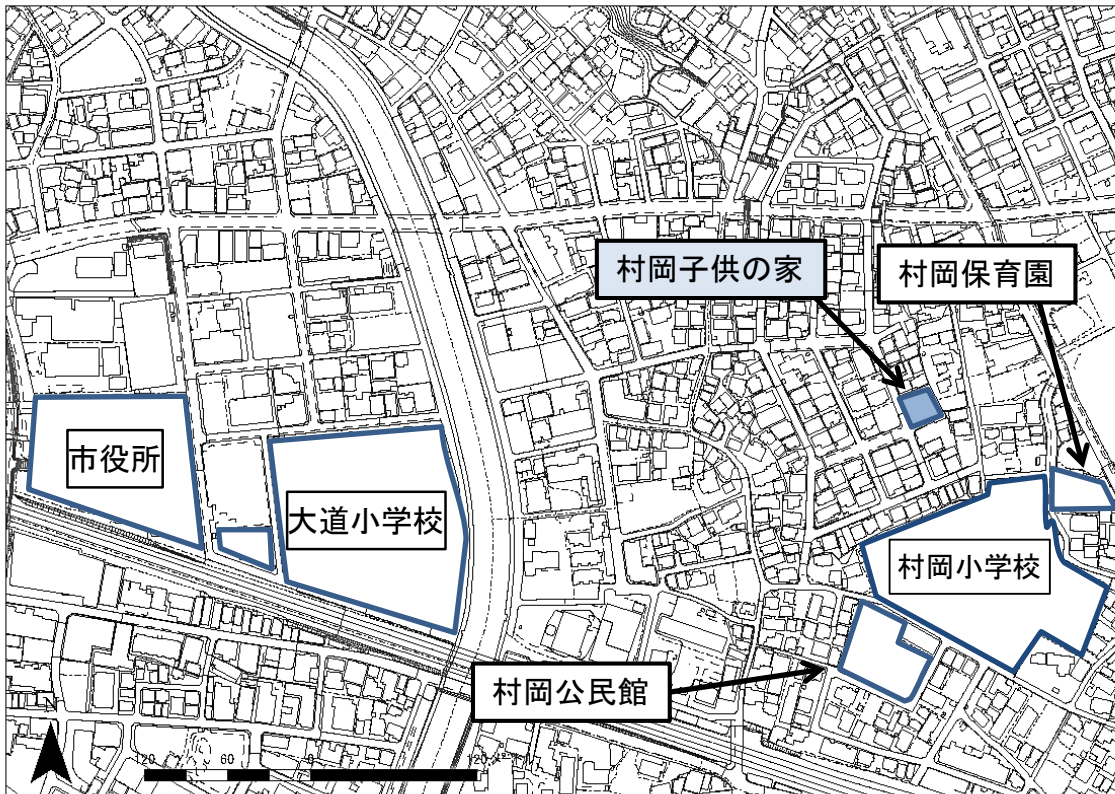
(事業費 H26：予算額(補正含む)、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費(千円)
H26	・地質調査、実施設計	16,245
H27	・建設工事、供用開始	150,000
H28	—	—
供用開始予定	平成28年1月	総事業費見込み 166,245

[地域子供の家、放課後児童クラブ併設イメージ（石川児童館平面図）]



[位置図]



⑨ しぶやがはら保育園建て替え

所管課	子ども青少年部保育課
住所又は地番	湘南台四丁目30
敷地面積	約1,300㎡
延べ床面積	717㎡
現状・課題	<p>しぶやがはら保育園については、旧耐震基準で建設された施設であり、老朽化が進んでいます。</p> <p>また、喫緊の課題である待機児童解消を図るため、定員拡大が急務となっており、平成25年6月に「藤沢市緊急保育対策2ヵ年計画」を策定し、施設整備を進めています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>子育て支援施設用地として寄付された敷地を活用して再整備を実施します。</p>
事業概要	<p>待機児童解消のため、寄付された敷地に保育所として定員を現在の120人から140人に拡大した新園舎を建設し、現園舎から移転します。</p> <p>また、現園舎については、安全性に配慮した上で待機児童の状況等を踏まえながら有効活用を検討します。</p>
	<p>想定床面積 約1,300㎡ 地上2階 RC造</p>
複合化等検討対象施設	—

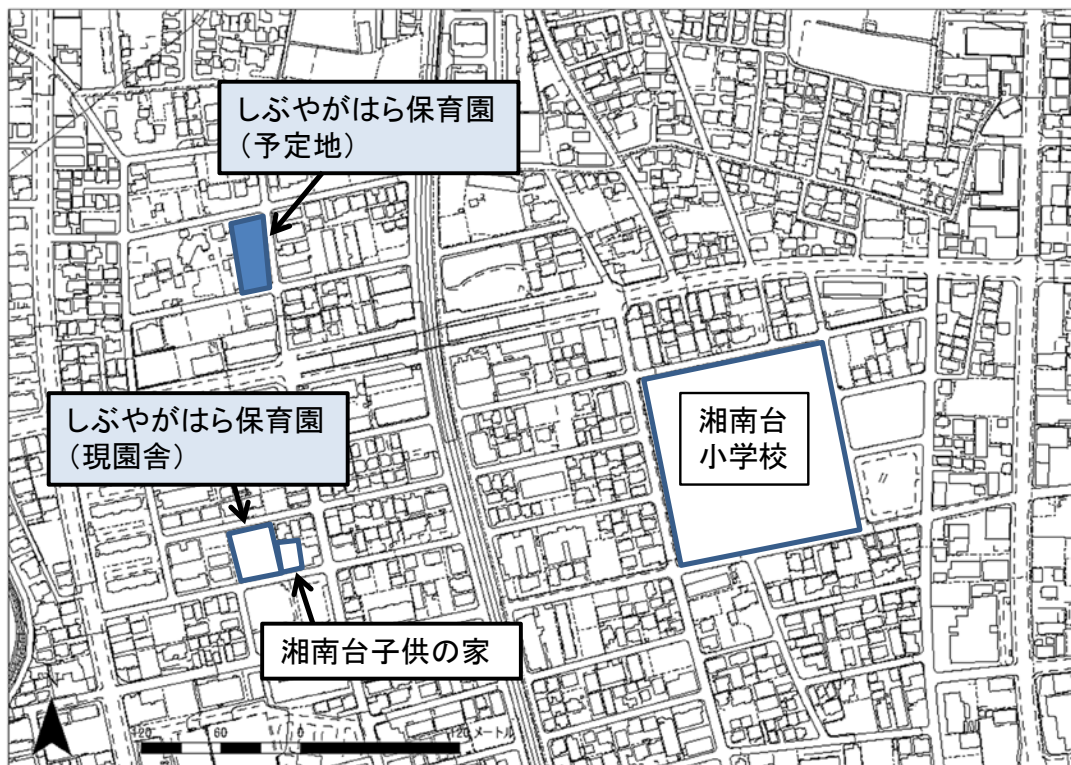
(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費(千円)
H26	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計、建設工事(3月着工) 現在の施設の再利用の検討 	(当初)25,170 (12月補正予定) 72,622
H27	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事(2月竣工) 	653,597
H28	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始 	—
供用開始予定	平成28年4月	総事業費見込み 751,389

[完成イメージ図]



[位置図]



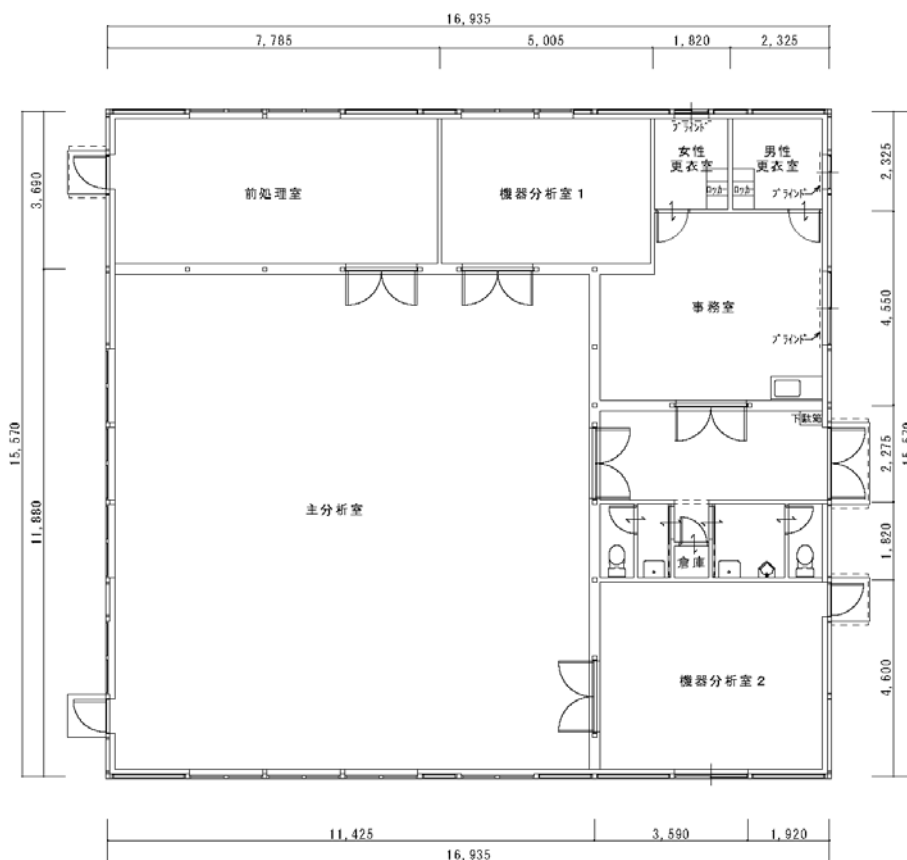
⑩ (仮称) 環境分析センター整備

所管課	環境部環境保全課
住所又は地番	本藤沢二丁目1-1 (石名坂環境事業所敷地内)
敷地面積	2,675 m ²
延べ床面積	約230 m ² (辻堂浄化センター管理棟内)
現状・課題	<p>環境保全課分析担当では、水質汚濁防止法等に基づき、公共用水域や事業場排水の水質分析、大気中の窒素酸化物等の分析等の業務を辻堂浄化センター管理棟内で行っています。</p> <p>当該施設は、平成23年度に実施した耐震診断において、耐震性の不足が明らかになったことから、早期に移転する必要があり、移転先の検討を進めてきました。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	水質汚濁防止法等に基づき、河川や事業場排水等の監視は義務となっており、今後も継続して実施していく必要があります。また、「公共施設の安全性の確保」の観点からも再整備を進めます。
事業概要	水質分析等の迅速な対応と危機管理体制の構築を図り、市民の安全安心を守るために、新たに(仮称)環境分析センターとして、石名坂環境事業所内に整備します。
	想定床面積 約260 m ² 地上1階 軽量鉄骨造
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26: 予算額(補正含む)、H27・H28: 想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費(千円)
H26	・施設整備、供用開始 ・建物リース(1ヶ月分)	1,107
H27	・建物リース(1年分)	13,274
H28	・建物リース(1年分)	13,274
供用開始予定	平成27年3月	総事業費見込み 132,732

[平面図 (予定)]



[石名坂環境事業所敷地内 建設予定場所]



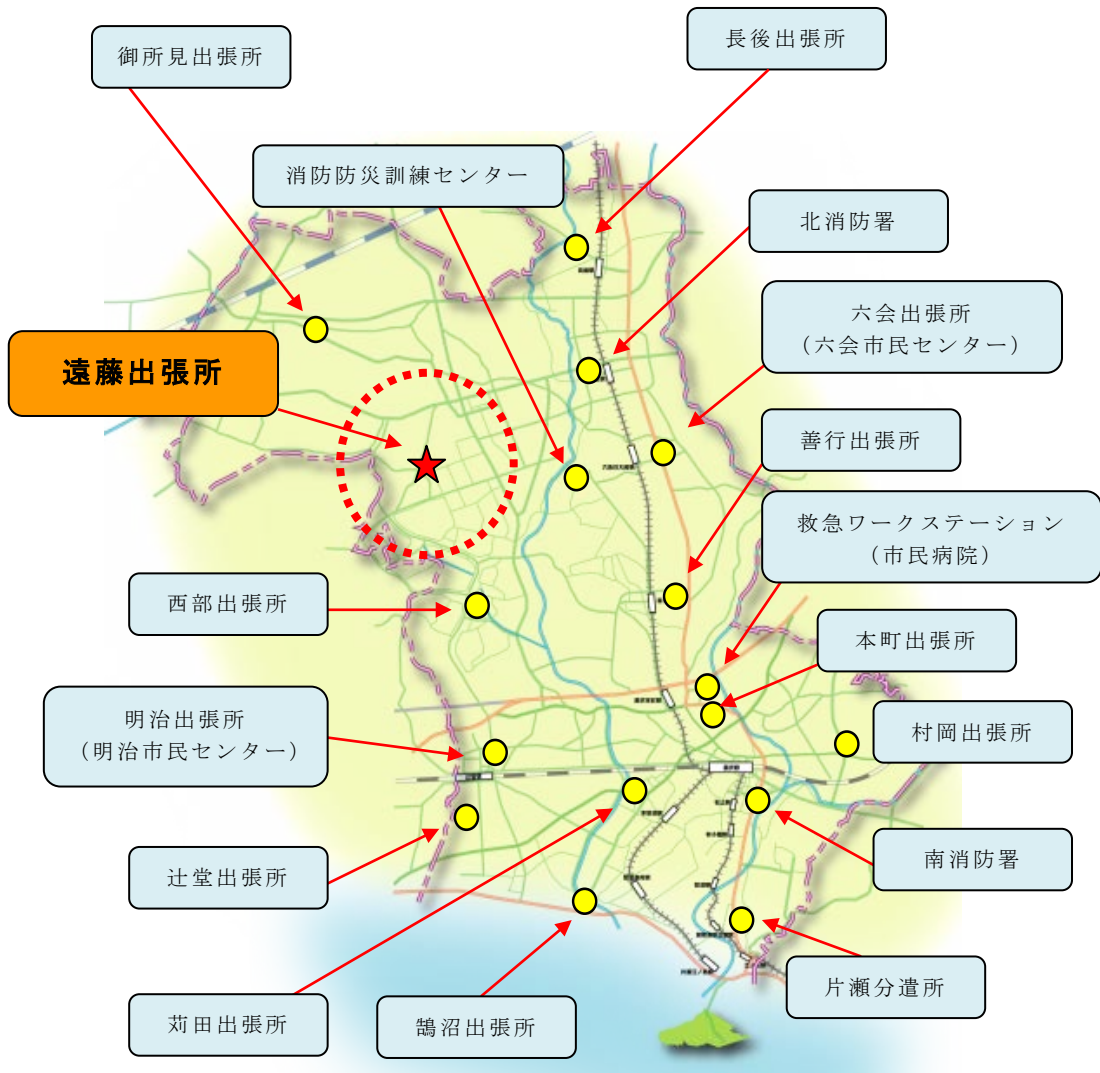
⑪ 北消防署遠藤出張所新設

所管課	消防局消防総務課
住所又は地番	遠藤 2 9 3 2 - 1 他
敷地面積	1, 2 3 8 m ²
延べ床面積	—
現状・課題	本市の消防配置は、国が示す「消防力の整備指針」における「火災の延焼を最小限に抑え、救命率の向上を図るため、火災や救急事案に対し出動から現場到着までの時間を4分以内とすること」を目標としていますが、本市西北部に位置する遠藤地区については、現状において4分体制が確保できていない状況となっています。
「再整備基本方針」に基づく考え方	新規に施設建設を行う際は、既存施設の有効活用、周辺施設との機能集約・複合化を検討することとしていますが、消防施設については、他の消防施設との配置状況を考慮する必要があり、周辺に機能集約できる施設がなく、市民の安全・安心を確保する施設として、設置が急がれていることから、当該施設は単独での新設とします。
事業概要	今後、遠藤地区については、いずみ野線の延伸等、都市化の拡大が見込まれ、将来的に人口の増加が予測される地区であることから、消防力の強化が急務となっています。 このことから、消防配置の4分体制を全市的に構築し、市民生活の安全・安心を確保するため、北消防署遠藤出張所を新設します。
	想定床面積 約 9 0 0 m ² 地上 2 階 R C 造
複合化等検討対象施設	—

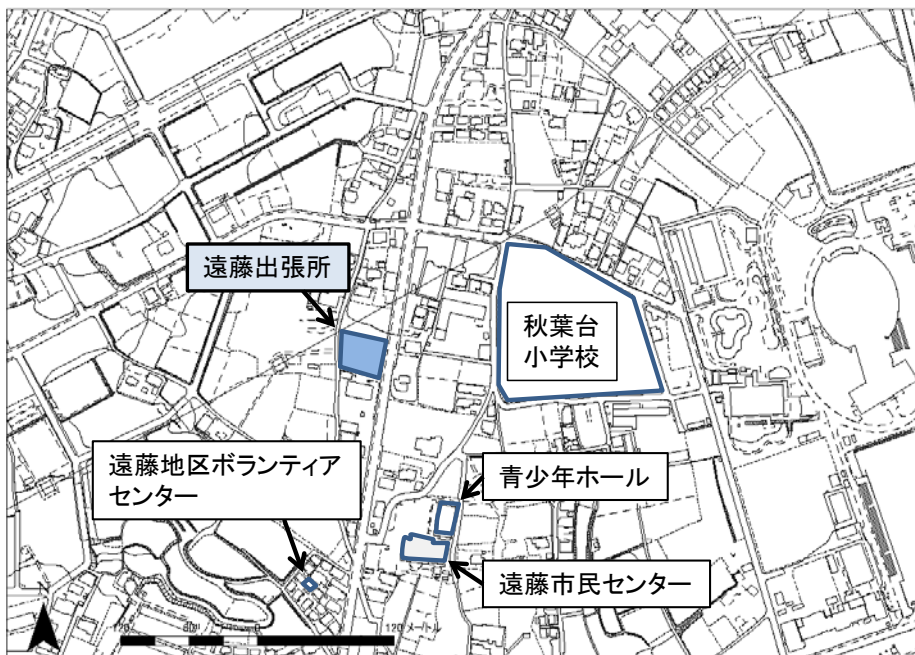
(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費 (千円)
H 2 6	・ 測量、地質調査	1 0, 3 4 0
H 2 7	・ 基本設計、実施設計	4 8, 6 2 1
H 2 8	・ 建設工事	5 5 4, 8 0 0
供用開始予定	平成 2 9 年 4 月	総事業費見込み 6 1 3, 7 6 1

[消防署所配置計画]



[位置図]



⑫ 仮設校舎新設（リース施設）（大鋸小学校、高谷小学校）

所管課	教育部学校施設課	
住所又は地番	大鋸1020（大鋸小学校）	高谷9-1（高谷小学校）
敷地面積	15,043㎡	14,868㎡
延べ床面積	5,407㎡	5,882㎡
現状・課題	大鋸小学校、高谷小学校ともに、現在21クラスですが、宅地開発等により児童数が増加したことに伴い、一時的に教室が不足していますので、その対応が課題となっています。	
「再整備基本方針」に基づく考え方	将来的な児童推計、使用期間等から財政負担を考慮し、新校舎の建設ではなく、リース施設での対応とします。	
事業概要	一時的に教室が不足している大鋸小学校及び高谷小学校に、仮設校舎（リース施設）を設置します。 （大鋸小学校：2教室分、高谷小学校：4教室分）	
複合化等検討対象施設	—	

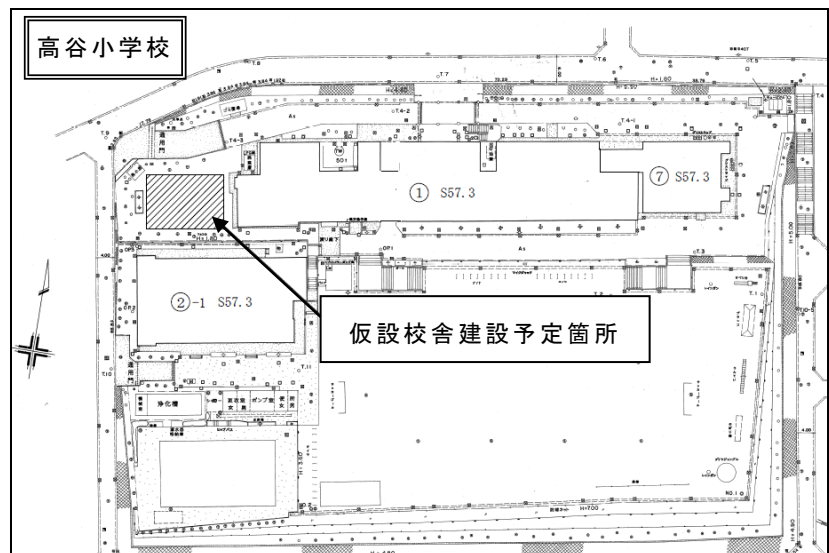
（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・大鋸小学校仮設校舎リース（1ヶ月分） ・高谷小学校仮設校舎規模等検討	694
H27	・大鋸小学校仮設校舎リース（1年分） ・高谷小学校仮設校舎リース（1ヶ月分）	8,328 1,222
H28	・大鋸小学校仮設校舎リース（1年分） ・高谷小学校仮設校舎リース（1年分）	8,328 14,664
供用開始予定	平成27年3月（大鋸小学校） 平成28年3月（高谷小学校）	総事業費見込み 160,944

[仮設校舎イメージ（明治小学校）]



[仮設校舎建設予定箇所図]



⑬ 給食調理場整備（滝の沢小学校、駒寄小学校、大清水小学校）

所管課	教育部学校給食課		
住所又は地番	遠藤 6 4 1 - 3（滝の沢小学校）	大庭 5 5 2 7 - 2（駒寄小学校）	大鋸 1 4 3 3（大清水小学校）
敷地面積	1 6, 6 9 3 m ²	1 5, 8 6 7 m ²	1 2, 7 2 3 m ²
延べ床面積	7, 2 7 2 m ²	5, 5 3 4 m ²	5, 0 9 6 m ²
現状・課題	<p>本市では、4つの学校給食合同調理場（北部、南部、善行、西部）を設置し、給食を配送方式で実施していましたが、より良い教育環境を推進するため、昭和54年に小学校の給食は単独調理方式で進めるという方針を定め、段階的に単独調理方式に移行したため、西部学校給食調理場のみが稼働していました。</p> <p>大清水小学校の給食調理室については、漏水が発生するなど、老朽化が深刻な状況です。</p>		
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>給食方式が変更されるとともに、設備の老朽化が著しいため、西部学校給食合同調理場を廃止します。なお、その跡地については、有効活用を検討します。</p>		
事業概要	<p>滝の沢小学校と駒寄小学校に給食調理室を新設し、西部学校給食合同調理場を廃止するとともに、その跡地については、学校施設としての有効活用を検討します。</p> <p>大清水小学校の給食調理室については、老朽化による機能低下（漏水等）が深刻なため、新たに給食調理室を設置し、現給食調理室については、他用途での有効活用を検討します。</p>		
複合化等検討対象施設	—		

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H 2 6	<ul style="list-style-type: none"> 滝の沢小学校、駒寄小学校新築工事（7月竣工、2学期（9月）より供用開始） 大清水小学校地質調査、実施設計 	4 8 3, 5 8 6
H 2 7	<ul style="list-style-type: none"> 西部学校給食合同調理場解体工事 大清水小学校新築工事 	1 3 9, 7 5 0
H 2 8	<ul style="list-style-type: none"> 大清水小学校新築工事（2月竣工） 	4 6 5, 0 0 0
供用開始予定	平成 2 9 年 4 月	総事業費見込み 1, 0 8 8, 3 3 6

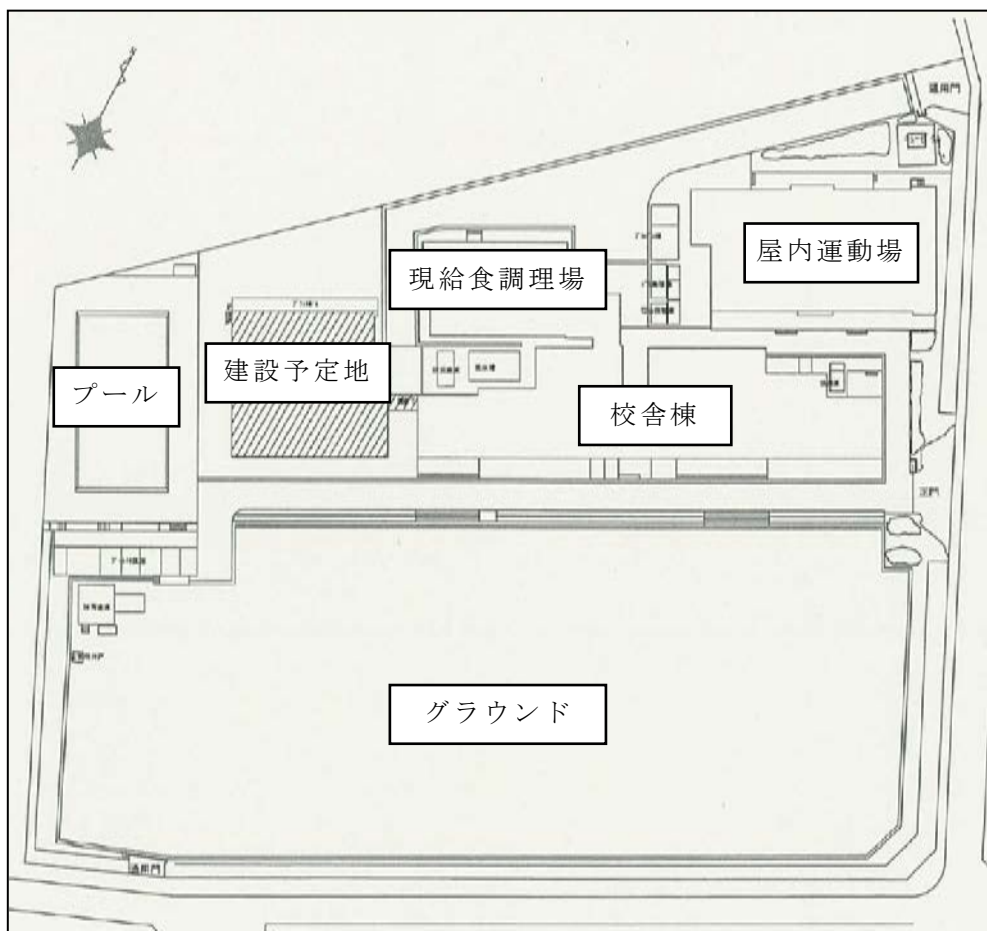
[完成写真（滝の沢小学校）]



[完成写真（駒寄小学校）]



[大清水小学校給食調理場配置図]



⑭ 稚児ヶ淵レストハウス建て替え

所管課	経済部観光課
住所又は地番	江の島二丁目5-2
敷地面積	145 m ²
延べ床面積	60 m ²
現状・課題	<p>稚児ヶ淵レストハウスについては、築50年が経過し老朽化による倒壊の危険性があるため、平成23年12月から閉鎖しています。</p> <p>また、江の島が映画のロケ地となるなど観光客の増加による島内施設の利便性の向上が求められています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	老朽化により閉鎖している稚児ヶ淵レストハウスについて、「公共施設の安全性の確保」の観点から建て替えを実施します。
事業概要	「観光客へのおもてなしの充実」を図るため、多目的トイレや展望デッキを設けた建て替えを実施します。
	想定床面積 約110 m ² 地上2階 RC造
複合化等検討対象施設	—

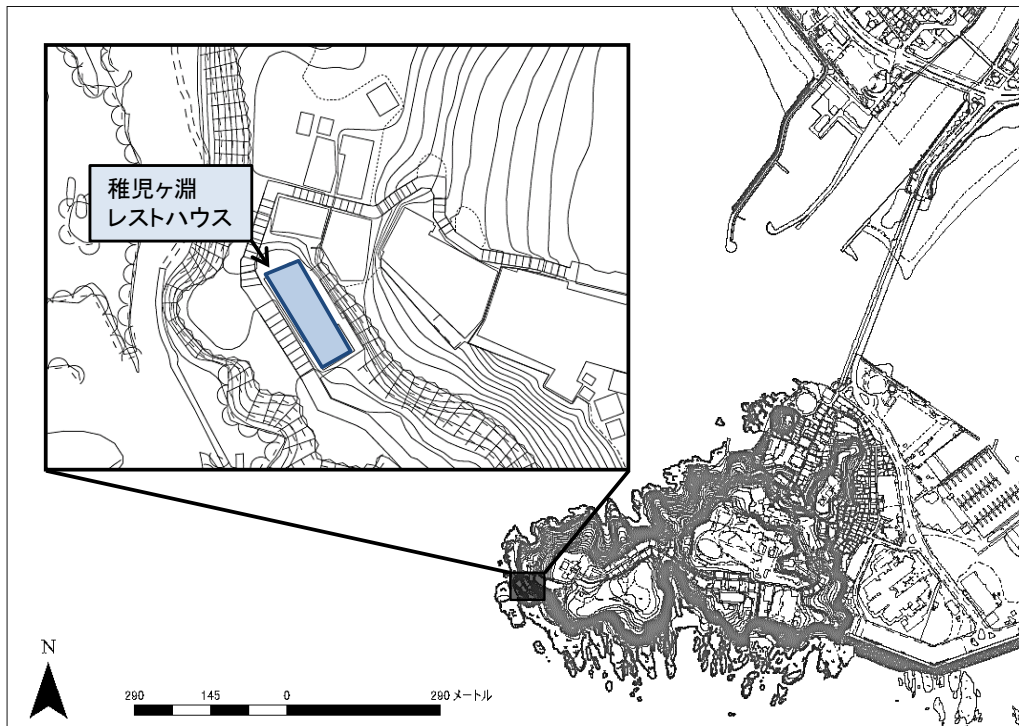
(事業費 H26：予算額(補正含む)、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費(千円)
H26	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の解体工事 建設工事 	139,493
H27	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始 	—
H28	—	—
供用開始予定	平成27年	総事業費見込み 139,493

[完成イメージ図]



[位置図]



⑮ 藤沢駅北口第2自転車等駐車場整備

所管課	土木部土木計画課
住所又は地番	藤沢574-3
敷地面積	772 m ²
延べ床面積	—
現状・課題	<p>藤沢駅周辺は駐輪需要が高く、放置自転車対策事業を実施していますが、依然として放置自転車が多く発生し、駐輪施設が不足している状況です。</p> <p>放置自転車の防止と自転車利用を促進する目的で、新たな駐輪施設の設置が求められています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>周辺にある既存の駐輪施設（2箇所）を機能集約し、自転車等の駐車需要に配慮した新たな駐輪施設を設置します。</p>
事業概要	<p>自転車等の駐車需要が高い藤沢駅北口駅周辺に有料駐輪施設（収容台数1,100台）を設置し、既存の「藤沢駅北口朝日町自転車等駐車場」（収容台数300台）及び「藤沢駅北口大道東自転車等駐車場」（収容台数300台）の2箇所の無料駐輪施設については廃止します。</p>
複合化等検討対象施設	—

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定		事業費（千円）
H26	・施設整備		415,077
H27	・供用開始		—
H28	—		—
供用開始予定	平成27年4月	総事業費見込み	415,077

[完成イメージ図]



[位置図]

設置場所：藤沢市藤沢 5 7 4 - 3



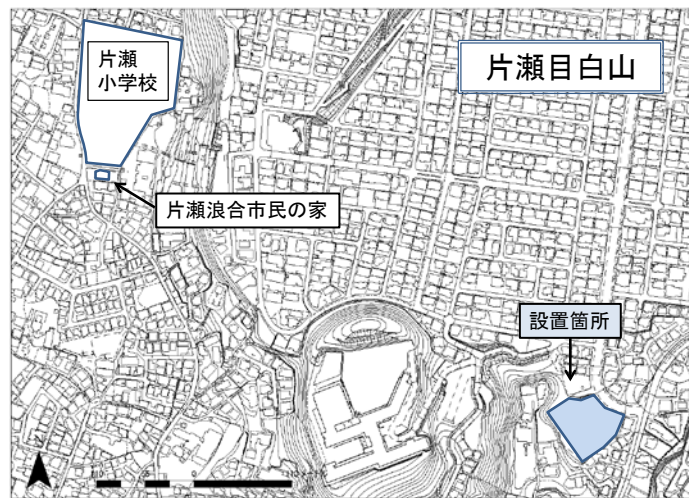
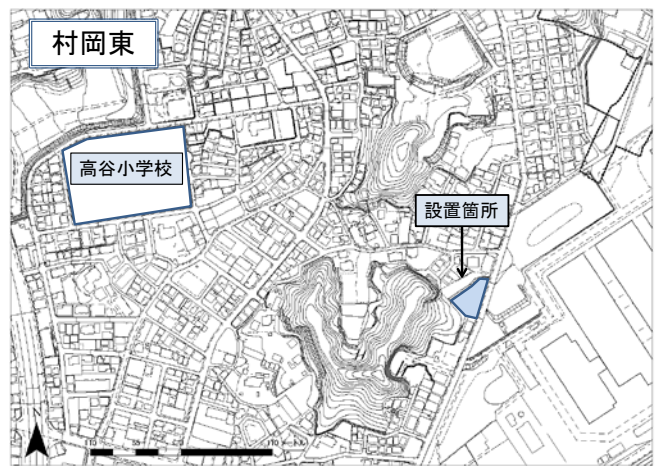
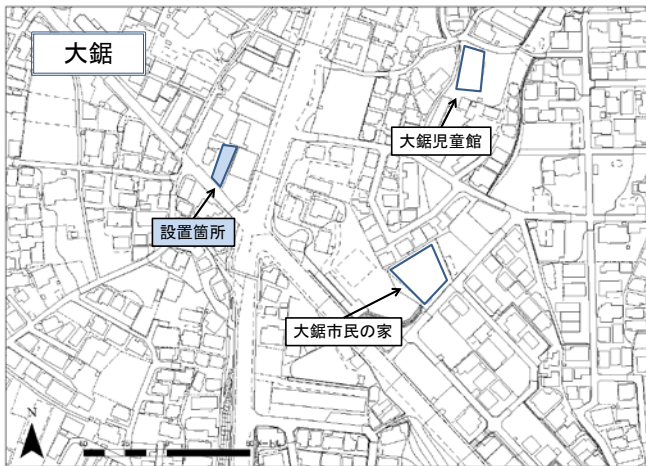
⑩ 防災備蓄倉庫整備（大鋸、村岡東、片瀬目白山等）

所管課	総務部防災危機管理室
住所又は地番	市内各所
敷地面積	—
延べ床面積	—
現状・課題	防災備蓄倉庫については、避難施設等を中心に市内各所に整備してきましたが、平成25年7月に改訂した「藤沢市地域防災計画」による地震災害の被害想定避難者数が、改訂前の69,000人から約2.7倍の187,980人になったことから、備蓄資機材の数量を増やす必要性があり、備蓄資機材を収容するスペースの確保も急務となっています。
「再整備基本方針」に基づく考え方	「藤沢市地域防災計画」に基づき、全市的に防災機能の強化を図るため、防災資機材の備蓄が可能な空間の確保について検討します。
事業概要	備蓄計画の見直しとともに、防災備蓄倉庫の増設及び更新を進めます。なお、防災備蓄倉庫の充実に向けた設置可能な空間として、学校や公園、民有地等の活用を検討するなど、可能な限り防災備蓄倉庫の設置を進めます。 平成26年度については、大鋸2基、村岡東二丁目11基、片瀬目白山11基の合計24基の防災備蓄倉庫を新たに設置する予定です。
複合化等検討対象施設	—

（事業費 H26：予算額（補正含む）、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・備蓄計画の見直し ・防災備蓄倉庫設置	98,270
H27	・防災備蓄倉庫設置箇所の検討及び設置	17,280
H28	・防災備蓄倉庫設置箇所の検討及び設置	—
供用開始予定	—	総事業費見込み 115,550

[大鋸・村岡東・片瀬目白山位置図]



[設置イメージ（長久保公園）]



⑰ 津波対策整備（湘洋中学校、鵜沼市民センター、市営鵜沼住宅）

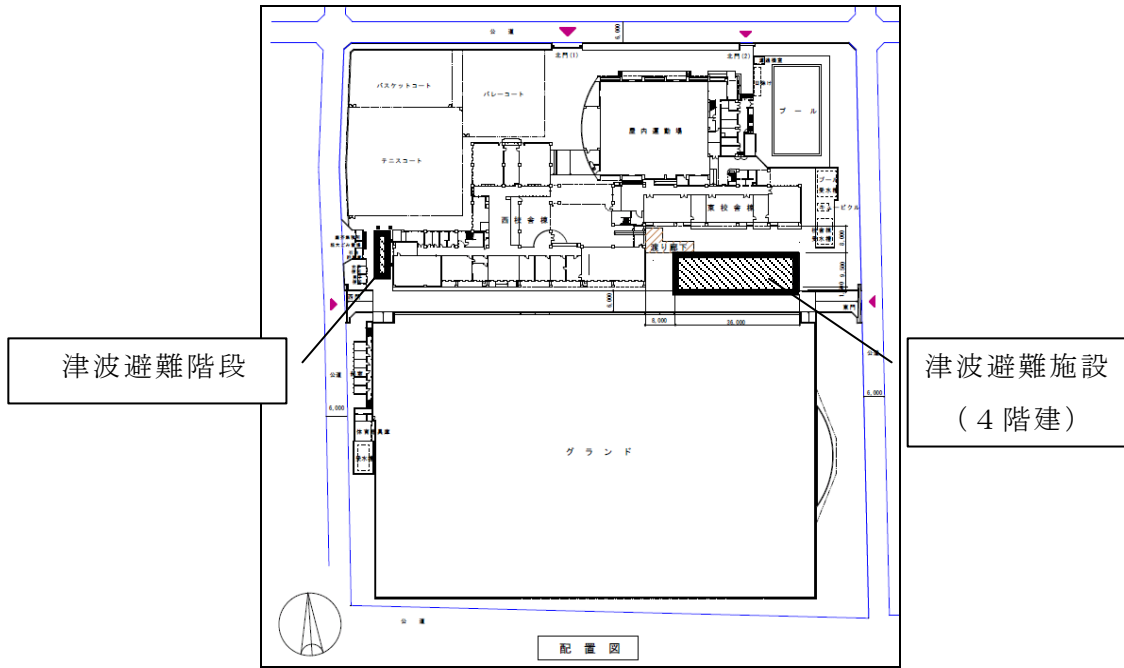
所管課	教育部学校施設課	市民自治部鵜沼市民センター	計画建築部住宅課
	総務部防災危機管理室		
住所又は地番	辻堂東海岸四丁目 17-1 (湘洋中学校)	鵜沼海岸二丁目10-34 (鵜沼市民センター)	鵜沼海岸四丁目12 (市営鵜沼住宅)
敷地面積	24,366㎡	5,121㎡	11,999㎡
延べ床面積	7,643㎡	1,781㎡	9,434㎡
現状・課題	<p>津波浸水想定区域^{※6}内の公共施設については、津波避難施設として活用できるよう、屋上へ避難するための整備等を進める必要があります。</p> <p>湘洋中学校は、第一種低層住居専用地域で、かつ風致地区が指定されているため、近隣に高層の建物がなく、また、高台もないことから、早急に津波避難対策を講じる必要があります。</p> <p>鵜沼市民センターは地区防災拠点施設であり、市営鵜沼住宅は津波避難ビルに指定されており、より安全な施設とするため、早急な整備が必要です。</p>		
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>「公共施設の安全性の確保」の観点から、津波発生時に市民の安全・安心を確保する施設として早急な整備を実施します。</p>		
事業概要	<p>湘洋中学校については、既存校舎棟に津波避難階段を設置するとともに、新たな津波避難施設として校舎棟を増築します。</p> <p>鵜沼市民センターについては、喫緊の課題である津波対策として、耐震補強工事を実施し、緊急一時避難場所として屋上を活用できるように津波避難階段、屋上フェンスを設置します。また、今後の建て替えについても長期プランに位置付け検討していきます。</p> <p>市営鵜沼住宅については、津波の波力に対する安全性を考慮し、屋上に避難するための津波避難階段、屋上フェンスを4棟に設置します。</p>		
複合化等検討対象施設	—		

(事業費 H26：予算額(補正含む)、H27・H28：想定事業費)

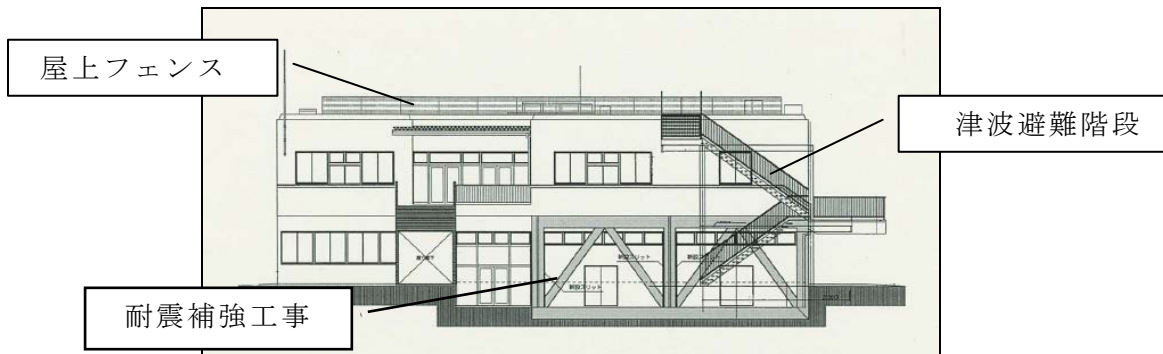
年度	スケジュール予定	事業費(千円)
H26	・湘洋中学校津波避難階段設計・設置工事(平成26年度事業)及び校舎棟増築設計等 ・鵜沼市民センター耐震補強工事・津波避難階段設置工事(平成26年度事業)	96,265 97,902
H27	・湘洋中学校校舎棟増築工事 ・市営鵜沼住宅津波避難階段設計	182,192 9,764
H28	・湘洋中学校校舎棟増築工事 ・市営鵜沼住宅津波避難階段工事	600,000 100,000
供用開始予定	平成29年4月(校舎棟、市営鵜沼住宅)	総事業費見込み 1,086,123

※6 慶長型地震による津波が発生した場合に浸水が想定される区域

[湘洋中学校津波避難階段・津波避難施設配置図]



[鵜沼市民センター津波避難階段南側立面図]



[市営鵜沼住宅津波避難階段設置予定棟位置図]



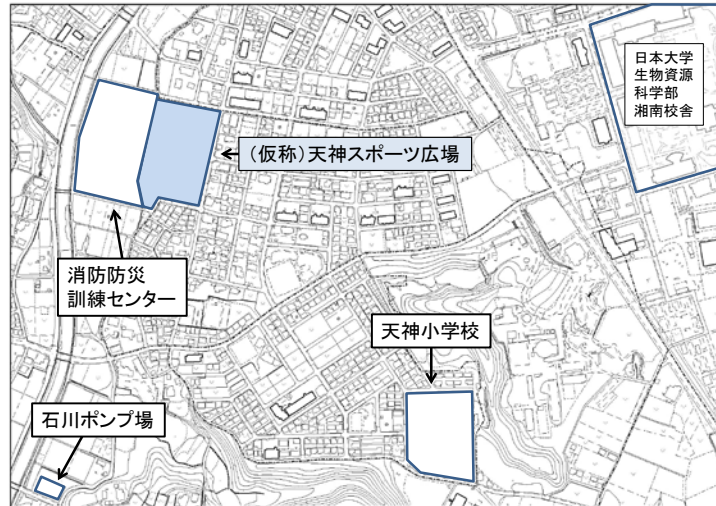
⑩ 付帯施設整備（（仮称）天神スポーツ広場、葛原第二最終処分場上部、引地川親水公園）

所管課	生涯学習部スポーツ推進課	環境部環境総務課	都市整備部公園みどり課
住所又は地番	天神町二丁目6-1他 （（仮称）天神スポーツ広場）	葛原1800他（葛原第二最終処分場）	大庭6510（引地川親水公園）
敷地面積	17,935㎡	22,224㎡	約160,000㎡
延べ床面積	—	—	—
現状・課題	—		
「再整備基本方針」に基づく考え方	—		
事業概要	<p>（仮称）天神スポーツ広場（野球場、多目的広場）の整備に伴い、更衣室、トイレ等を整備します。</p> <p>葛原第二最終処分場上部有効活用によるグランドゴルフ場やランニングコースの整備に伴い、あずまや、トイレ等を整備します。</p> <p>トイレが不足している引地川親水公園に簡易型のトイレを1基設置します。</p>		
複合化等検討対象施設	—		

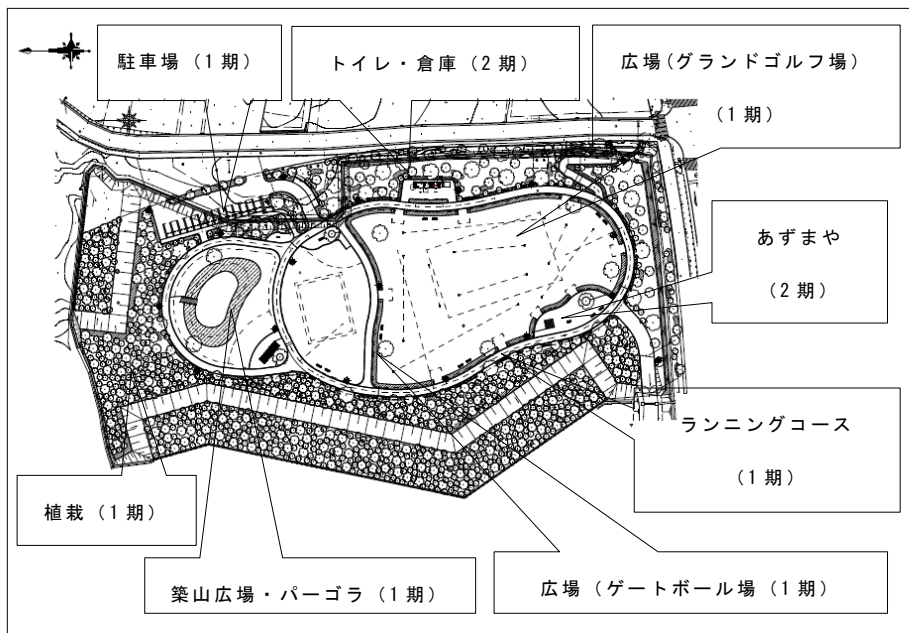
（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）天神スポーツ広場現況測量・基本設計 葛原第二最終処分場上部整備1期工事平成26年度分（グランドゴルフ場、ランニングコース等） 引地川親水公園設置工事 	<p>8,943</p> <p>138,070</p> <p>9,558</p>
H27	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）天神スポーツ広場実施設計・野球場工事 葛原第二最終処分場上部整備1期工事平成27年度分・2期工事（あずまや、トイレ等） 	<p>132,875</p> <p>109,672</p>
H28	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）天神スポーツ広場野球場供用開始 	—
供用開始予定	—	総事業費見込み 399,118

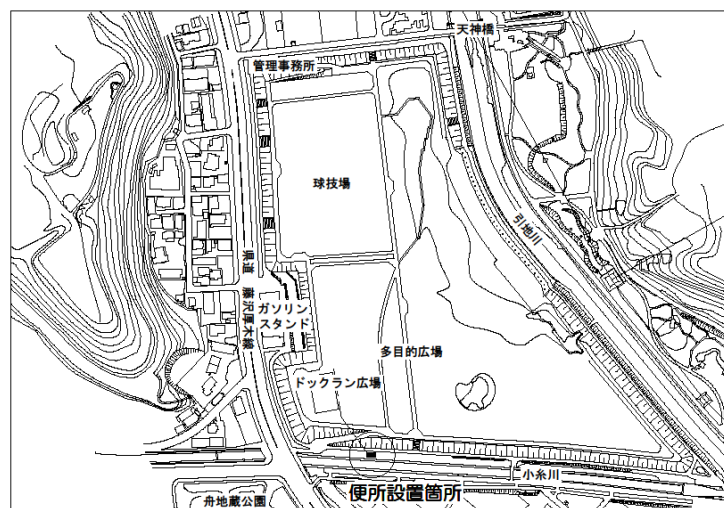
[(仮称) 天神スポーツ広場位置図]



[葛原第二最終処分場上部整備完成予想図]



[引地川親水公園簡易型便所設置箇所図]



⑱ 市民病院再整備 [特別会計施設]

所管課	市民病院病院総務課
住所又は地番	藤沢二丁目 6 - 1
敷地面積	37,019 m ²
延べ床面積	43,332 m ²
現状・課題	<p>市民病院については、昭和46年の開院以来、地域の基幹病院として運営しています。東館については築40年以上が経過し老朽化による機能低下が進んでいることから、建て替えに着手しています。</p> <p>また、西館については、建設後20年経過し配管設備・空調設備の劣化などが進んでおり、その改修や更新が必要です。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>市民病院については、多くの市民の安全・安心を守るための重要な施設であり、「藤沢市地域防災計画」における災害拠点病院にも位置づけられているため、「公共施設の安全性の確保」の観点から老朽化の進む東館の建て替え及び西館の改修等の再整備を実施します。</p>
事業概要	<p>老朽化により機能低下が進む市民病院について、東館は建て替え、西館はリフォームを含む改修工事による再整備を実施します。</p> <p>また、再整備に当たっては、「災害に強い病院」、「質の高い医療の提供」、「患者満足度の高い医療の提供」、「地域に開かれた病院」、「環境に優しい病院」を基本方針とし、病院機能を停止することなく、順次、建設、移転及び解体を円滑に実施し、継続した医療供給を行っていきます。</p>
	<p>想定床面積 約30,000 m² 地上9階 RC造 (新東館)</p>
複合化等検討対象施設	—

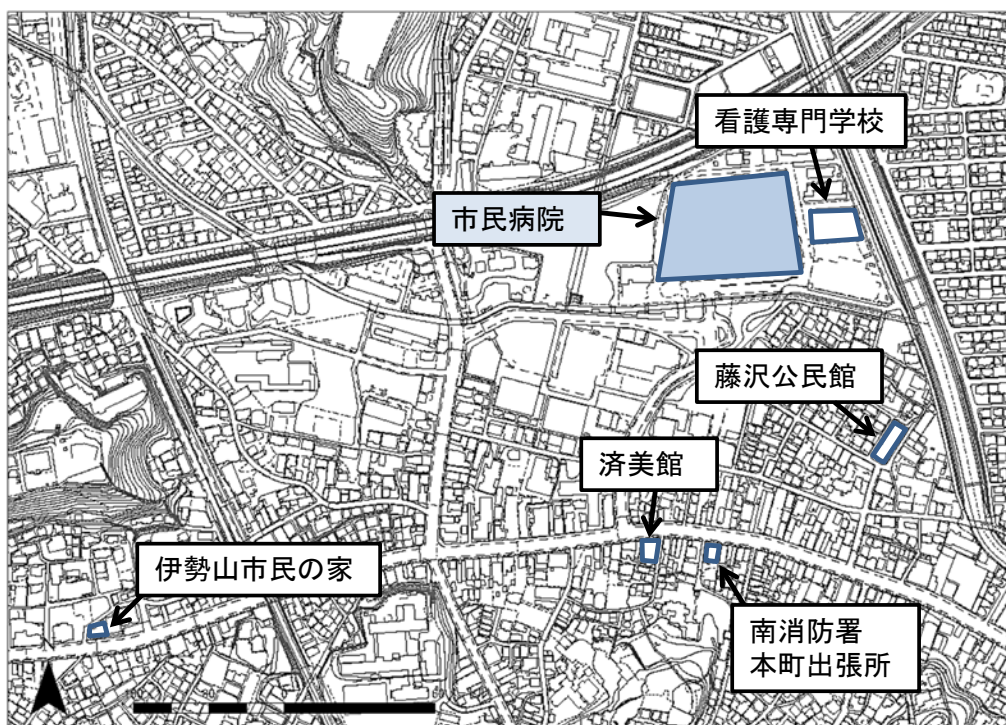
(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費 (千円)
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・新東館建設工事 ・西館改修設計 	1,346,223
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・新東館建設工事 (8月外来ホール等一部除き竣工) ・西館改修工事 (3月竣工) 	5,337,098
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・新東館建設工事 	371,943
供用開始予定	平成29年12月	総事業費見込み 10,541,468

[完成イメージ図]



[位置図]



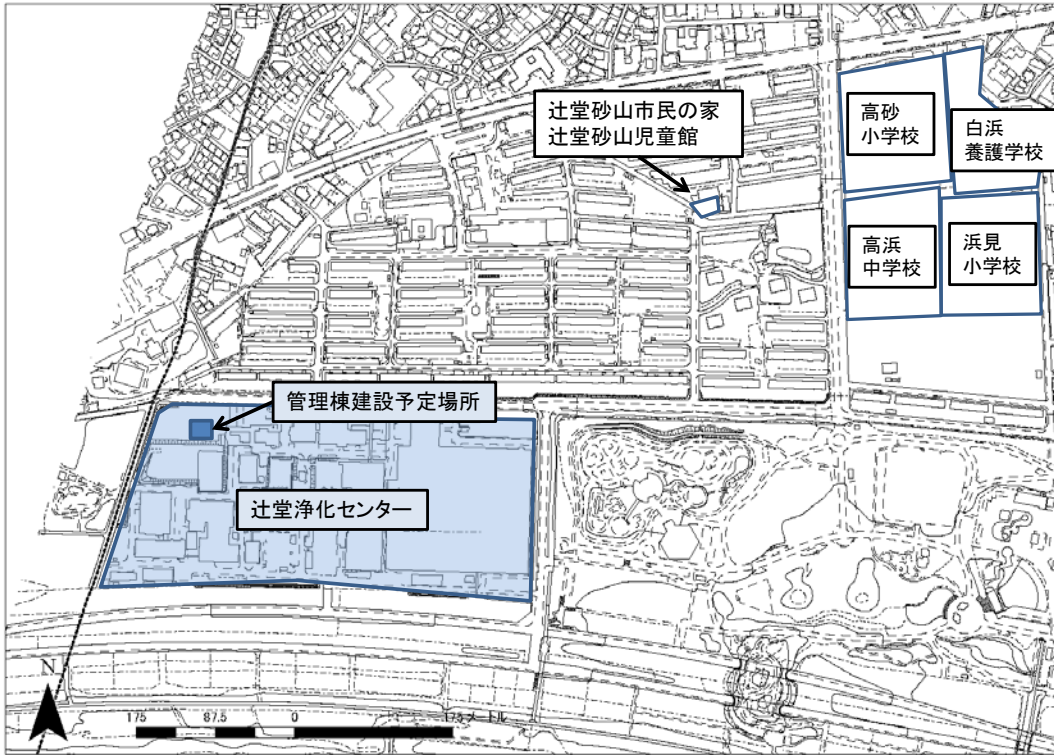
⑳ 下水道施設再整備（辻堂浄化センター管理棟建て替え、各ポンプ場耐震化等）〔特別会計施設〕

所管課	土木部土木計画課・下水道施設課
住所又は地番	辻堂西海岸三丁目3-1他
敷地面積	—
延べ床面積	—
現状・課題	<p>下水道施設については、2箇所の浄化センターと15箇所のポンプ場が稼働しています。最も古い施設の運転開始が昭和39年であり、施設建設のピークが昭和50年～60年頃であったことから、老朽化が進んだ施設が増加しています。</p> <p>また、耐震性能を保持していない施設も多く、老朽化や地震被災による施設の機能障害等が想定され、日常生活や社会経済活動に多大な影響を及ぼす恐れがあります。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>社会インフラ施設として最低限必要な施設であり、「公共施設の安全性の確保」の観点から、老朽化した施設の建て替えや長寿命化に向けた維持管理、耐震改修工事等を実施します。</p>
事業概要	<p>下水道施設の機能及びサービス水準を効率的に維持し、健全な下水道事業を運営するため、施設の計画的な修繕・改修等の長寿命化対策事業を実施するとともに、最低限の下水道機能を確保するため、下水道総合地震対策事業に基づき各施設の耐震化等を実施します。</p> <p>また、辻堂浄化センター管理棟については、平成23年度に実施した耐震診断において、耐震性の不足が明らかになったことから、早期に建て替えを実施します。</p>
複合化等検討対象施設	—

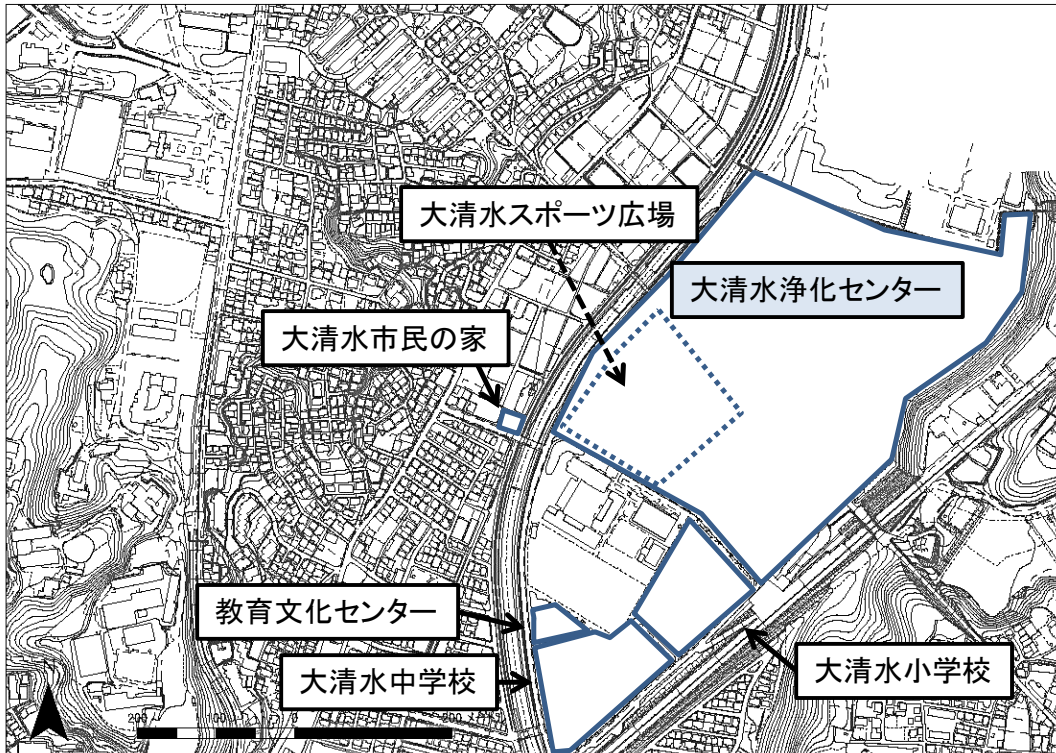
（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> 辻堂浄化センター管理棟実施設計、仮設事務所リース契約、2号焼却炉棟耐震補強工事 大清水浄化センター脱水機棟耐震補強設計、管理棟耐震補強工事 各ポンプ場耐震診断、耐震補強設計 	234,200
H27	<ul style="list-style-type: none"> 辻堂浄化センター発電機棟耐震補強工事、管理棟建設場所整地 大清水浄化センター自家発電機棟耐震補強設計 各ポンプ場耐震補強設計 	905,000
H28	<ul style="list-style-type: none"> 辻堂浄化センター管理棟建設工事等 	781,000
供用開始予定	<p>平成30年4月 (辻堂浄化センター管理棟)</p>	<p>総事業費見込み —</p>

[辻堂浄化センター管理棟配置図・位置図]



[大清水浄化センター位置図]



(2) 実施事業（計画等策定を行うもの）

① 地域コミュニティ拠点施設のあり方方針の策定

所管課	市民自治部市民自治推進課
住所又は地番	—
敷地面積	—
延べ床面積	—
現状・課題	<p>現在、地域市民の家や自治会町内会館といった地域コミュニティを形成するための施設が各地区に点在するとともに、老朽化が進んでいます。</p> <p>また、設置当時からの公共施設等の配置状況の変化や機能の重複等から利用率が低い施設もあります。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>「再整備基本方針」の考え方に基づき「地域コミュニティ拠点施設のあり方方針」を策定し、類似施設の市域全体での再配置及び機能集約・統廃合、他の公共的な施設等への転換を検討します。</p>
事業概要	<p>地域コミュニティを形成するための施設が近隣で重複することなどにより、利用率が低い施設もあることから、施設の稼働状況に応じた、今後の施設のあり方方針を策定します。</p>
複合化等検討対象施設	—

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・あり方方針の検討、策定	—
H27	・あり方方針に沿った施設整備の検討 ・関係団体等との調整	—
H28	・あり方方針に沿った施設整備の検討 ・関係団体等との調整	—

② 学校施設再整備計画の策定

所管課	教育部学校施設課
住所又は地番	—
敷地面積	—
延べ床面積	—
現状・課題	市立学校全55校のうち、旧耐震基準かつ1,000㎡以上の校舎を有する学校が32校あり、老朽化が著しい状況となっています。
「再整備基本方針」に基づく考え方	「再整備基本方針」の考え方に基づき「学校施設再整備計画」を策定します。なお、策定に当たっては、学校の校舎棟等について耐力度調査を実施し、施設の長寿命化か建て替えかを判断するとともに、再整備手法を検討します。 また、児童・生徒数の将来推計を長期的に分析し、学区の見直し、学校の統廃合についても合わせて検討します。
事業概要	再整備に向けて、本市の将来人口推計や児童生徒数の将来推計、多様化する教育内容や学校利用等を考慮した中で、学校における教育環境や施設のあり方等を整理し、「学校施設再整備計画」を策定します。 また、平成27年度以降順次、施設の耐力度調査（当面は、築年数40年以上の建物を有する学校を優先）を実施し、その結果を基に長寿命化若しくは建て替えの判断をしていきます。
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・計画検討	—
H27	・計画策定 ・校舎耐力度調査（5校）	100,000
H28	・校舎耐力度調査（5校）	100,000

(3) 検討事業

① 善行市民センター再整備（善行保育園、善行乳児保育園等）

所管課	市民自治部市民自治推進課	企画政策部企画政策課
住所又は地番	善行一丁目2-3	
敷地面積	3,644㎡（善行市民センター、平和台住宅敷地）	
延べ床面積	1,558㎡	
現状・課題	善行市民センターについては、旧耐震基準で建設された施設であり、老朽化しています。また、地域住民からも建て替え要望がなされている状況であるため、再整備を進める必要があります。	
「再整備基本方針」に基づく考え方	市民センター・公民館については任意施設ですが、13地区の拠点施設として現機能を継続する必要があります。 また、「公共施設の安全性の確保」の観点からも再整備を進めていくとともに、周辺公共施設の機能集約や複合化を検討します。	
事業概要	善行市民センターに隣接した平和台住宅の廃止が検討されていることから、その敷地の活用も視野に再整備を検討します。 また、善行市民センター用地が点在しているため、再整備に当たっては有効活用を図ります。	
複合化等検討対象施設	善行市民センター、善行公民館、善行市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、善行保育園、善行乳児保育園、放課後児童クラブ、北消防署善行出張所、第15分団器具置場	

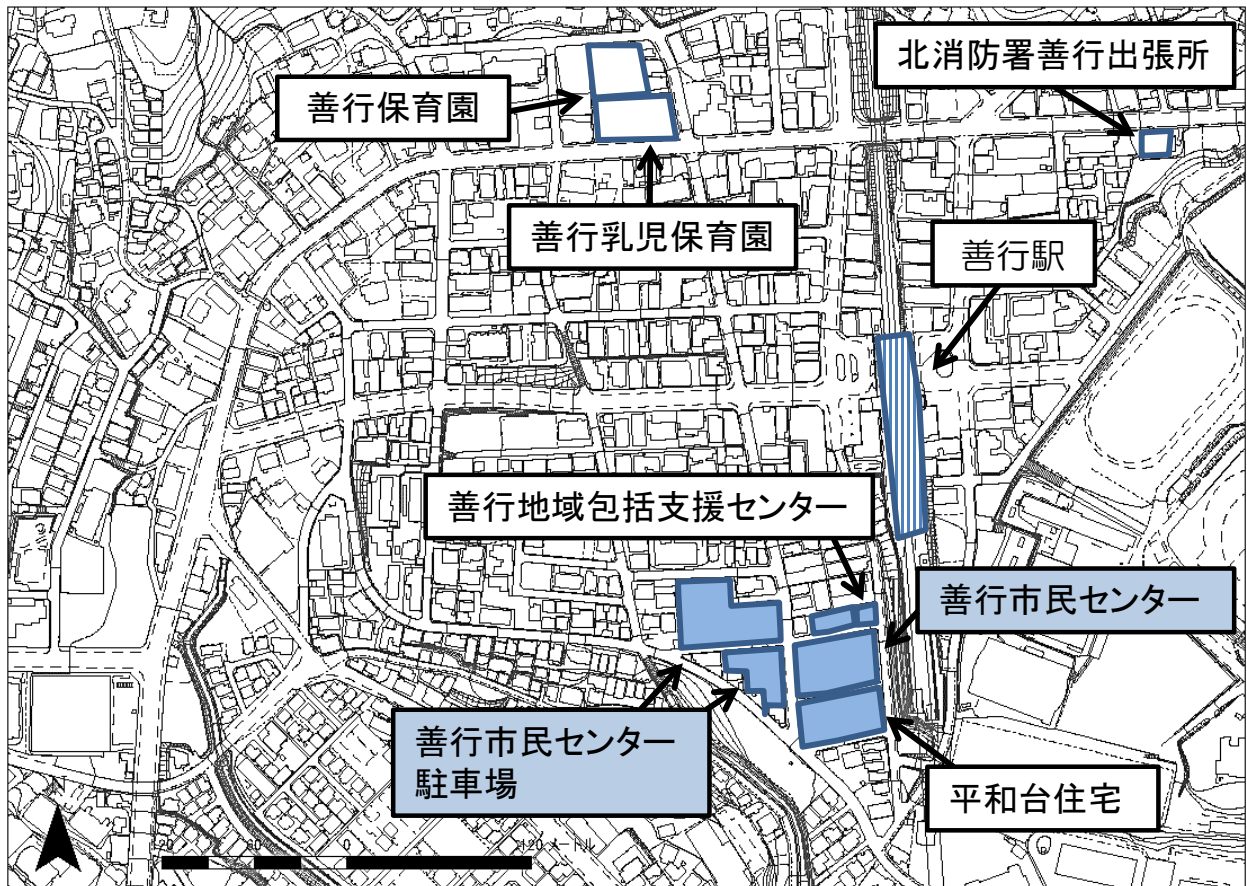
（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市有地の活用検討 ・平和台住宅の廃止に向けた検討 ・機能集約や複合化の検討 	—
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想 	20,000
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計、地質調査 	130,000

[善行市民センター外観写真]



[位置図]



② 辻堂市民センター再整備（南消防署辻堂出張所等）

所管課	市民自治部市民自治推進課	企画政策部企画政策課
住所又は地番	辻堂西海岸二丁目 1	
敷地面積	2, 883 m ² （元神奈川県職員住宅辻堂西アパート敷地）	
延べ床面積	1, 475 m ²	
現状・課題	<p>辻堂市民センターについては、旧耐震基準で建設された施設であり、老朽化しています。また駐車場用地も十分になく手狭な状況です。</p> <p>このことから、地域住民からも建て替え要望がなされており、移転を含めて再整備を進める必要があります。</p>	
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>市民センター・公民館については任意施設ですが、13地区の拠点施設として現機能を継続する必要があります。</p> <p>また、「公共施設の安全性の確保」の観点からも再整備を進めていくとともに、周辺公共施設の機能集約や複合化を検討します。</p>	
事業概要	<p>現在の敷地は狭隘なため、県有地（元神奈川県職員住宅辻堂西アパート）を取得し、その敷地を活用した再整備を検討します。</p> <p>また、県有地の南側に隣接する高浜中学校テニスコート及び道路用地についても、一体的な整備を検討します。</p>	
複合化等検討対象施設	辻堂市民センター、辻堂公民館、辻堂市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、辻堂青少年会館、放課後児童クラブ、南消防署辻堂出張所、第10分団器具置場、辻堂市民図書館	

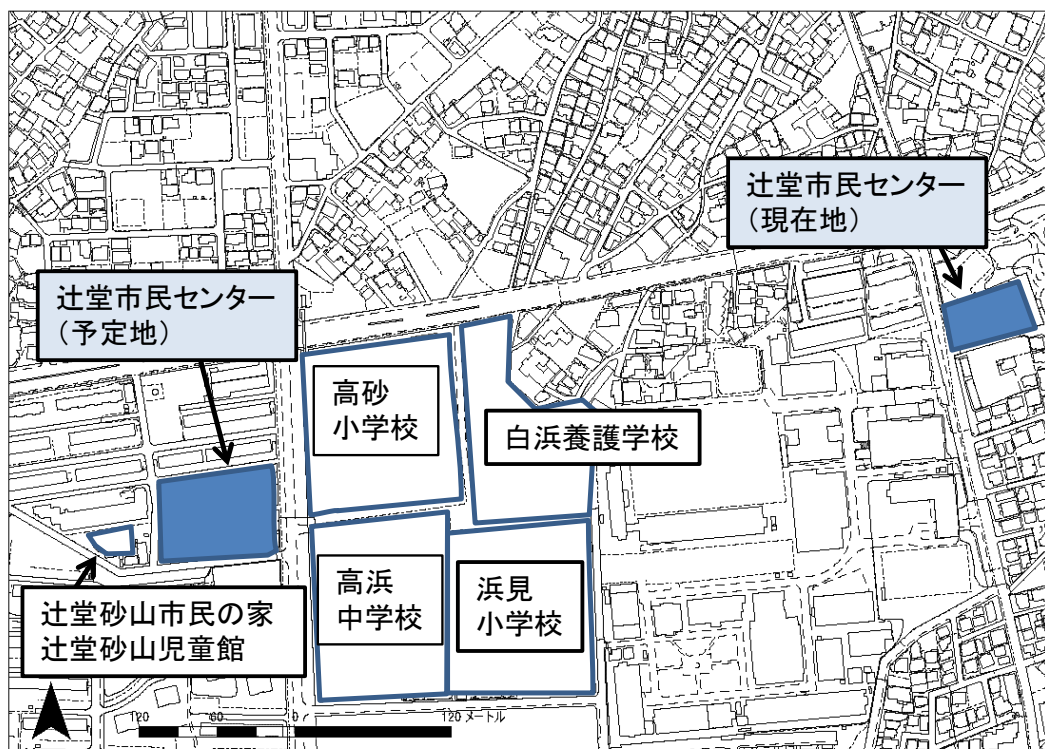
（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県有地取得（土地開発公社先行取得） ・ 周辺市有地の活用検討 ・ 機能集約や複合化の検討 	—
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想、取得建築物解体設計 	20,000
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本設計、地質調査 ・ 取得建築物解体工事 	230,000

[辻堂市民センター外観写真]



[位置図]



③ 文化ゾーンの再整備（市民会館、南市民図書館等）

所管課	生涯学習部文化芸術課・総合市民図書館	企画政策部企画政策課
住所又は地番	鶴沼東 8 - 1	
敷地面積	約 19,000 m ²	
延べ床面積	10,763 m ² （市民会館）	1,314 m ² （南市民図書館）
現状・課題	<p>市民会館、南市民図書館ともに旧耐震基準で建設され、老朽化や機能劣化が進んでいる状況です。</p> <p>また、当該地区が文化ゾーンとして位置づけられていることから、文化施設を中心とした新たな文化活動等の拠点整備が課題となっています。</p>	
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>「公共施設の安全性の確保」の観点から市民会館及び南市民図書館の建て替えに向けた検討を進め、その規模や機能を検証します。</p> <p>また、再整備に当たっては、周辺施設の機能集約や複合化を検討します。</p>	
事業概要	<p>文化ゾーンに位置し、老朽化が進んでいる市民会館及び南市民図書館の再整備を基本に、当該敷地を活用した周辺公共施設の機能集約を検討します。</p>	
複合化等検討対象施設	<p>市民会館、南市民図書館、藤沢青少年会館、文書館、藤沢保育園、藤沢子育て支援センター、放課後児童クラブ、地域子供の家、藤沢市民ギャラリー、奥田公園駐車場、自転車等駐車場</p>	

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・基本構想策定に向けた基礎調査等の実施	4,930
H27	・基本構想策定に向けた庁内検討	—
H28	・基本構想	20,000

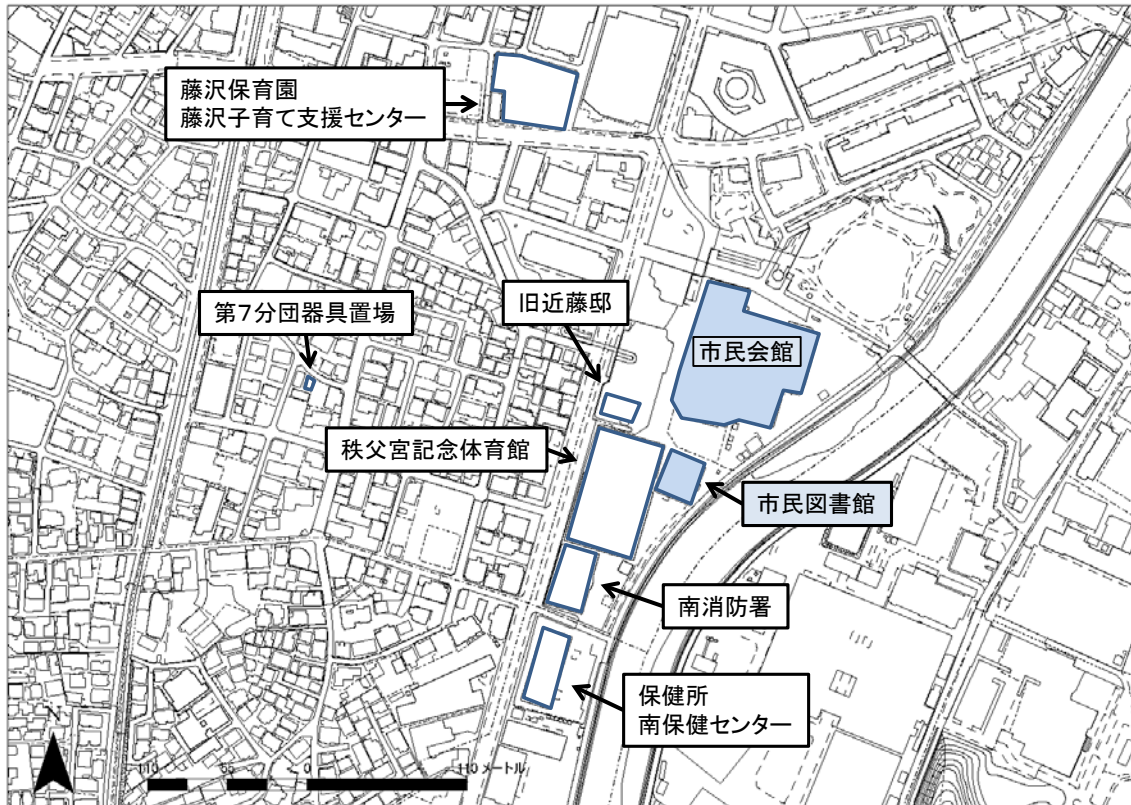
[市民会館外観写真]



[南市民図書館外観写真]



[位置図]



④ 村岡公民館再整備

所管課	生涯学習部生涯学習総務課
住所又は地番	弥勒寺一丁目7-7
敷地面積	3,022㎡
延べ床面積	2,287㎡
現状・課題	<p>村岡公民館については、旧耐震基準で建設された民間施設を取得し、耐震改修工事を行い増築した施設であり、老朽化のみならず、手狭な状況にあります。</p> <p>このことから地域住民からも建て替え要望がなされており、再整備を進める必要があります。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>公民館については任意施設ですが、13地区の拠点施設として現機能を継続する必要があります。</p> <p>また、「公共施設の安全性の確保」の観点からも再整備を進めていくとともに、周辺公共施設の機能集約や複合化を検討します。</p>
事業概要	<p>村岡地区のまちづくり整備の進捗状況等を踏まえ、周辺公共施設等との機能集約や複合化の検討を行い、再整備の方針を決定します。</p>
複合化等検討対象施設	<p>村岡公民館、村岡市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、村岡市民の家、放課後児童クラブ、南消防署村岡出張所</p>

(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費(千円)
H26	・庁内検討	—
H27	・検討	—
H28	・検討	—

⑤ 文化財収蔵庫整備

所管課	生涯学習部郷土歴史課		
住所又は地番	—		
敷地面積	—		
延べ床面積	9 1 8 m ² (第 1 収蔵庫)	9 0 3 m ² (第 2 収蔵庫)	1, 7 5 2 m ² (御所見収蔵庫)
現状・課題	文化財収蔵については、第 1 収蔵庫（元善行学校給食合同調理場）、第 2 収蔵庫（元北部学校給食合同調理場）、御所見収蔵庫（旧御所見市民センター）の 3 箇所分散しており、全ての施設が築 40 年を超え老朽化が進んでいるとともに、収蔵スペースは飽和状態となっています。		
「再整備基本方針」に基づく考え方	施設の統廃合を基本に集約化等を検討します。		
事業概要	本市が収蔵している文化財は市民の共有財産であり、確実に後世へと継承し活用していくため、文化財収蔵庫の集約化に向けて、文化財等の整理を行うとともに適切な保管方法について検討を進めます。		
複合化等検討対象施設	—		

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H 2 6	・文化財等の整理と保管方法の検討	—
H 2 7	・文化財等の整理と保管方法の検討	—
H 2 8	・文化財等の整理と保管方法の確定	—

⑥ 老人福祉センターやすらぎ荘再整備

所管課	福祉部高齢者支援課
住所又は地番	稲荷586番地
敷地面積	7,252㎡
延べ床面積	1,808㎡
現状・課題	<p>老人福祉センターやすらぎ荘については、施設の老朽化が著しく、また、他の老人福祉センター（湘南なぎさ荘・こぶし荘）と比較すると、バリアフリー対応や運動浴室の未設置など、機能・設備が課題となっています。</p> <p>また、施設内の食堂については、平成26年度をもって現在の運営者が事業を終了するため、新たな運営者の選定が必要です。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>「公共施設の安全性の確保」の観点から、老朽化が進む老人福祉センターやすらぎ荘の再整備について検討します。</p> <p>また、再整備に当たっては、福祉施設や周辺施設の機能集約・複合化についても合わせて検討します。</p>
事業概要	<p>老人福祉センターについては、現在の3館を基本に再整備の方針を検討する必要があります。その中で、やすらぎ荘については、旧耐震基準で建設され老朽化が進んでいることから、他の老人福祉センター（湘南なぎさ荘・こぶし荘）とのあり方を含め、施設整備について検討します。</p> <p>また、食堂については、新たな運営者を選定し、利用者への昼食・軽食の提供が継続できるよう利便性の確保を図ります。</p>
複合化等検討対象施設	—

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> 整備方針の検討 次年度以降の食堂運営事業者の選定 	—
H27	<ul style="list-style-type: none"> 整備方針の検討 食堂のリニューアル、運営 指定管理者第三者評価の実施 	—
H28	<ul style="list-style-type: none"> 整備方針の確定 	—

⑦ 太陽の家再整備

所管課	福祉部障がい福祉課
住所又は地番	鵜沼海岸六丁目 6 - 1 2
敷地面積	6, 3 0 4 m ²
延べ床面積	4, 7 1 3 m ²
現状・課題	<p>太陽の家については、障がい児者のための福祉施設であり、障がい児のための通園施設、障がい者の社会参加を目的とした通所施設及び障がい者のスポーツとふれあいの場となる体育館が併設されていますが、旧耐震基準で建設され、老朽化が進んでいます。</p> <p>また、平成16年度から指定管理者制度を導入し管理運営を行い、しいの実学園（児童発達支援センター）、藤の実学園（生活介護事業）、放課後等デイサービス事業等を同施設内において実施しており、藤沢市の障がい者福祉の拠点施設として役割を果たしています。</p> <p>障がい児の施設は利用希望者に対して少なく、利用者から見たこの施設への期待が大きいことから、中長期的な運営方針と合わせた施設改善の方向性を示す必要があります。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>「公共施設の安全性の確保」の観点から、老朽化が進む太陽の家の再整備について検討します。</p> <p>また、再整備に当たっては、福祉施設や周辺施設の機能集約・複合化についても合わせて検討します。</p>
事業概要	旧耐震基準で建設され老朽化が進んでいるため、中長期的な運営方針と合わせ、施設整備について検討します。
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H 2 6	・運営方針の検討	—
H 2 7	・運営方針の確定	—
H 2 8	・運営方針に沿った再整備の検討	—

⑧ ふれあいセンター再整備

所管課	福祉部障がい福祉課
住所又は地番	亀井野 3 0 9 9
敷地面積	1, 4 5 8 m ²
延べ床面積	1, 3 0 0 m ²
現状・課題	<p>ふれあいセンターについては、障がい者団体の活動拠点として開設しましたが、旧耐震基準で建設され老朽化が進んでいます。</p> <p>また、運営については社会福祉法人に委託しており、貸し館事業（ふれあいルーム）を実施しています。当該法人の自主事業として「ふれあいケアセンター事業（生活介護）」と「一時預かり事業」を同施設内において実施しています。</p> <p>障がい者団体から、ふれあいセンターの老朽化とともに交通事情の不便さもあり、新たな活動拠点の整備を求められており、今後の中長期的な運営と合わせた施設改善の方向性を示す必要があります。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>「公共施設の安全性の確保」の観点から、老朽化が進むふれあいセンターの再整備について検討します。</p> <p>また、再整備に当たっては、福祉施設や周辺施設の機能集約・複合化についても合わせて検討します。</p>
事業概要	<p>旧耐震基準で建設され老朽化が進んでいるため、耐震診断を実施し安全性を確認するとともに、今後の施設のあり方について検討します。</p>
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H 2 6	・耐震診断、施設のあり方の検討	7, 6 4 7
H 2 7	・施設のあり方の確定	—
H 2 8	・施設のあり方に沿った再整備の検討	—

⑨ 湘南台地区ボランティアセンター新設

所管課	福祉部福祉総務課
住所又は地番	*開設場所未定
敷地面積	—
延べ床面積	—
現状・課題	<p>湘南台地区は、地区ボランティアセンターが未設置となっている4地区のうちの一つであり、その開設が長年の課題となっており、高齢者を対象とした生活支援の現状や運営に係る担い手の課題などを踏まえ、開設に向けた検討が必要です。</p> <p>また、超高齢社会を迎えるにあたり、地域福祉における支え合いが今後ますます重要になることから、地域住民のボランティアによる新しい生活支援サービスの体制づくりが求められています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>新たな行政ニーズ等により施設を設置するに当たっては、民間施設を含む既存施設の活用を検討します。</p>
事業概要	<p>現在未設置の湘南台地区に地区ボランティアセンターを新設します。</p> <p>また、新設に当たり、現在検討されている藤沢市地域の縁側（交流スペース）事業を加えた、高齢者から子どもまでがいつでも気軽に立ち寄れる、新しい地域福祉と地域コミュニティの多機能型拠点施設を目指します。</p>
複合化等検討対象施設	—

(事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費)

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・開設準備委員会による課題検討 ・運営スタッフや支援ボランティアの確保 ・施設の開設準備 	*開設場所が未定のため開設経費は未定
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営 	—
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営 	—

⑩ 環境事業センター再整備（南北収集事務所統合整備）

所管課	環境部環境事業センター	
住所又は地番	遠藤 2023-17（環境事業センター）	稲荷 417（南部収集事務所）
敷地面積	4,352 m ²	3,676 m ²
延べ床面積	1,906 m ²	1,282 m ²
現状・課題	<p>環境事業センターについては、築34年を経過し、老朽化が進んでいます。</p> <p>また、現在は収集業務を北部と南部に拠点を設置して運営していますが、収集職員及び収集車の効率的運用に課題があります。</p>	
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>市民生活における環境衛生の保全に関する重要な義務施設であり、旧耐震基準で建設され、また老朽化も進んでいることから、「公共施設の安全性の確保」のため、南部収集事務所との統合と合わせて再整備手法を検討します。</p>	
事業概要	<p>老朽化が進む環境事業センターの再整備に合わせ、収集業務の更なる効率化を図るため、南部収集事務所との統合に向けた検討を実施します。</p>	
複合化等検討対象施設	環境事業センター、南部収集事務所、秋葉台リサイクル展示場	

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・施設建設や再整備手法の検討	—
H27	・施設建設や再整備手法の検討	—
H28	・施設建設や再整備手法の決定	—

⑪ 焼却施設再整備（石名坂環境事業所、北部環境事業所）

所管課	環境部石名坂環境事業所	環境部北部環境事業所
住所又は地番	本藤沢二丁目1-1	石川2168
敷地面積	19,409㎡	14,913㎡
延べ床面積	13,714㎡	11,703㎡
現状・課題	<p>石名坂環境事業所は、建設から既に30年以上が経過しており、大規模改修工事等により延命化を図ってきましたが、安定したごみ処理のために、北部環境事業所を含めた市全体の焼却施設の再整備が必要な状況になっています。</p> <p>再整備を進めるに当たっては、今後の市内のごみの増加量や焼却エネルギーを活用した発電にも考慮して、より効率的な施設整備を計画的に進める必要があります。</p> <p>また、北部環境事業所のし尿処理施設についても、老朽化が進んでおり、施設修繕等含め処理のあり方を検討する必要があります。</p> <p>※バイオガス化施設整備については、経済性、温室効果ガス削減効果及びエネルギー収支の面で焼却施設に優位性がある、施設建設用地の確保が困難、本市規模の稼働実績が他にない及び新たな分別による市民負担の増加等の理由で導入を見送りました。</p>	
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>生活環境の保全及び公衆衛生の観点から、一般廃棄物の処理は停滞の許されない事業です。これを担う焼却施設の老朽化が進んでいるため、「公共施設の長寿命化」及び「公共施設の安全性の確保」の観点から、施設のあり方を決定します。</p>	
事業概要	<p>石名坂環境事業所及び北部環境事業所の稼働状況と土地利用等を考慮し、環境への影響、経済性及び高効率発電による焼却エネルギーの活用等を総合的に判断し、施設再整備計画を策定します。</p> <p>なお、焼却施設については、大規模災害時にも稼働できるよう強靱化を図るとともに、廃棄物処理の際に発生する電力を地域に開放するなど、施設の有効利用等を検討します。</p> <p>また、し尿処理施設の再整備については、広域連携を視野に入れた処理方法のあり方を検討します。</p>	
複合化等検討対象施設	—	

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設の整備方針の検討、決定 ・処理方法のあり方の検討 	—
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想（焼却炉整備） ・処理方法のあり方の決定 	34,322
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計（焼却炉整備） 	55,916

⑫ 南消防署本町出張所（第9分団）再整備

所管課	消防局消防総務課
住所又は地番	本町四丁目5-21
敷地面積	837 m ²
延べ床面積	569 m ²
現状・課題	<p>南消防署本町出張所については、旧耐震基準で建設され、老朽化が進んでおり、現存する消防出張所の中で最も古い施設となっていることから、災害発災時の活動拠点として安全性の確保が求められています。</p> <p>なお、再整備に当たっては、仮設用地の確保が課題となっています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>消防施設については、出動から現地到着までの目標時間があることから他の消防施設の配置状況を考慮する必要があるため、本施設については、現在の敷地での建て替えを想定します。</p> <p>また、周辺の施設について機能集約・複合化を検討します。</p>
事業概要	<p>老朽化が進む南消防署本町出張所について、市民の安全・安心を守る施設として、安全性の確保が求められていることから、建て替えに向けた検討を進めます。</p> <p>また、本敷地は藤沢宿内にあることから、歴史あるまち並みを考慮した外観等を検討します。</p>
複合化等検討対象施設	南消防署本町出張所、第9分団器具置場、放課後児童クラブ、防災備蓄倉庫

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・庁内検討	—
H27	・庁内検討	—
H28	・基本設計、実施設計、測量・地質調査等	10,000

⑬ 南消防署苅田出張所（第5分団）再整備（自家用給油所等）

所管課	消防局消防総務課
住所又は地番	本鵠沼四丁目3-1
敷地面積	1,194㎡
延べ床面積	440㎡
現状・課題	<p>南消防署苅田出張所については、旧耐震基準で建設され、老朽化が進んでおり、災害発災時の活動拠点として安全性の確保が求められています。また、東日本大震災時に道路寸断等により緊急車両への給油が滞ったことを踏まえ、災害時の消防車両、災害復旧用車両への専用給油所の設置の検討が課題となっています。</p> <p>なお、再整備に当たっては、仮設用地の確保が課題となっています。</p>
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>消防施設については、出動から現地到着までの目標時間があることから、他の消防施設の配置状況を考慮する必要があるため、本施設については、現在の敷地での建て替えを想定します。</p> <p>また、自家用給油所の設置を検討していることから、敷地面積に限りはありますが、周辺の施設について機能集約や複合化を検討します。</p>
事業概要	<p>老朽化が進む南消防署苅田出張所について、市民の安全・安心を守る施設として、安全性の確保が求められていることから、建て替えに向けた検討を進めます。</p> <p>また、自家用給油所について、現在は、消防防災訓練センター（石川）に設置されていますが、市の北部地域に位置する運用拠点であることから、全市的な運用が可能となるよう南部地域の運用拠点としての設置を検討します。</p>
複合化等検討対象施設	南消防署苅田出張所、第5分団器具置場、自家用給油所、鵠沼子供の家、放課後児童クラブ、防災備蓄倉庫

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	・自家用給油所の設置箇所の検討	—
H27	・自家用給油所の設置箇所の決定	—
H28	・整備手法の検討	—

⑭ 藤が岡二丁目地区の再整備（藤が岡保育園等）

所管課	子ども青少年部保育課	企画政策部企画政策課
住所又は地番	藤が岡二丁目3-16	
敷地面積	3,104㎡	
延べ床面積	728㎡（藤が岡保育園）	
現状・課題	<p>藤が岡二丁目地区については、元藤が岡職員住宅、元市民病院看護師寮及び藤が岡保育園の3つの公共施設が隣接しています。</p> <p>元藤が岡職員住宅は、昭和38年に建設し、建築後51年を経過し老朽化が著しく倒壊の恐れがあり、現在空き家になっていることから早期取壊しが求められているとともに、元市民病院看護師寮についても、平成25年度末を持って利用を終了しています。</p> <p>また、藤が岡保育園は、昭和40年に建設され、老朽化していることや隣接施設の解体工事期間中の騒音や振動により、保育園の運営に支障を来すなどの課題があります。</p>	
「再整備基本方針」に基づく考え方	<p>元藤が岡職員住宅、元市民病院看護師寮については、現在使用を中止しており、「公共施設の安全性の確保」の観点からも早期の解体が望ましいため、老朽化が進む藤が岡保育園の建て替えと合わせて再整備を検討します。</p> <p>また、再整備に当たっては、周辺施設の機能集約・複合化等を検討します。</p>	
事業概要	<p>複数の公共施設が同一街区内にあり、その敷地面積の規模も大きいことから、一体の敷地としての土地利用計画や周辺施設の機能集約など、施設整備の検討を行います。</p> <p>また、藤が岡保育園の運営中は、騒音や安全性の面から解体工事ができないため、まずは仮設園舎の設置場所を確保し、倒壊の恐れがある元藤が岡職員住宅を早期に取り壊します。</p>	
複合化等検討対象施設	藤が岡保育園、藤が岡市民の家、地域子供の家、放課後児童クラブ、防災倉庫等	

（事業費 H26：予算額、H27・H28：想定事業費）

年度	スケジュール予定	事業費（千円）
H26	<ul style="list-style-type: none"> 藤が岡保育園の仮設園舎の設置場所の検討 基本構想に向けた機能整理、庁内検討 	—
H27	<ul style="list-style-type: none"> 事業手法の検討 基本構想 	20,000
H28	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計、解体設計 	150,000

[藤が岡保育園・元藤が岡職員住宅外観写真]



[位置図]



